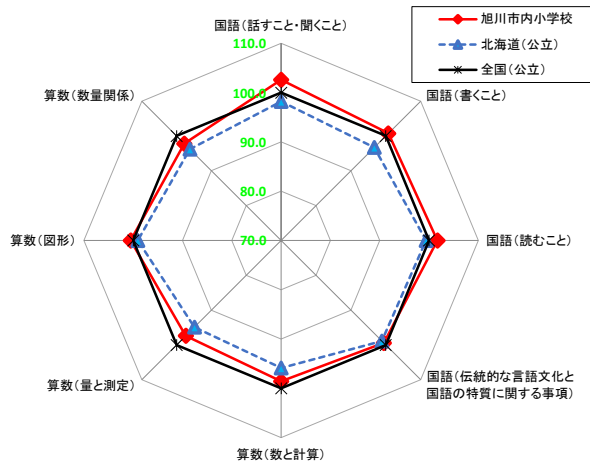


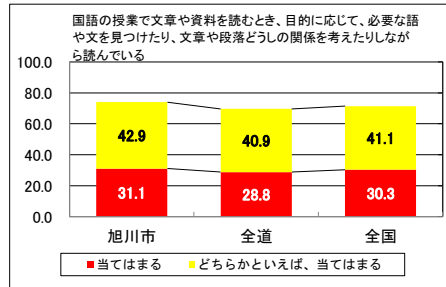
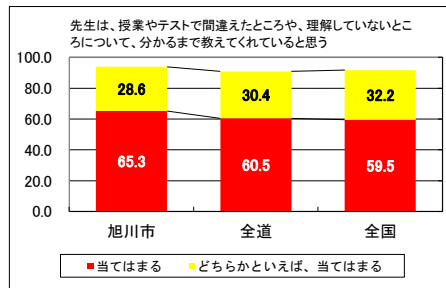
■旭川市内小学校の状況及び学力向上策(学校数:53校、児童数:2372人)

【教科全体の状況】

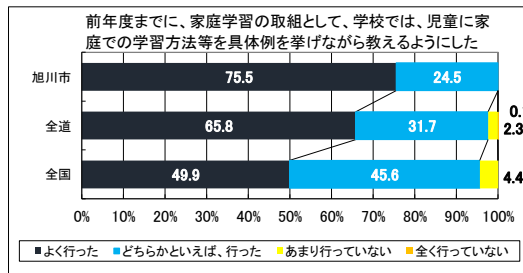
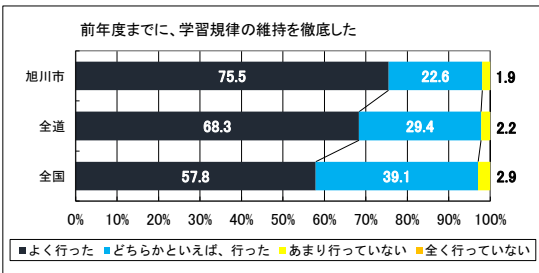
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語において、全国を上回っている。 ○ 国語では、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」、算数では、「図形」で全国を上回っている。	○ 確かな学力育成プランの学びを深める授業づくりに基づき、授業改善に取り組んだことにより、「理解していないところなどを分かるまで教えてくれる」と回答した児童が全国及び全道を上回ったり、「国語の授業で文章等を読むとき、目的に応じて、必要な語や文を見つかったり、文章や段落どうしの関係を考えたりしながら読んでいる」と回答した児童が全国を上回ったりしたと考えられる。
児童質問紙	○ 「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思う」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「国語の授業で文章や資料を読むとき、目的に応じて、必要な語や文を見つかったり、文章や段落どうしの関係を考えたりしながら読んでいる」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。	○ 確かな学力育成プランの落ち着いた学級づくりに基づき、学習規律の指導の重要性について共通理解を図ったことにより、「前年度までに、学習規律の維持を徹底した」と回答した学校が全国及び全道を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 「前年度までに、学習規律の維持を徹底した」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、児童に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えるようにした」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	○ 確かな学力育成プランの望ましい学習習慣づくりに基づき、効果的な宿題や家庭学習についての指導を重点的に行ったことにより、「家庭学習の取組として、学校では、児童に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えるようにした」と回答した学校が全国及び全道を上回ったと考えられる。

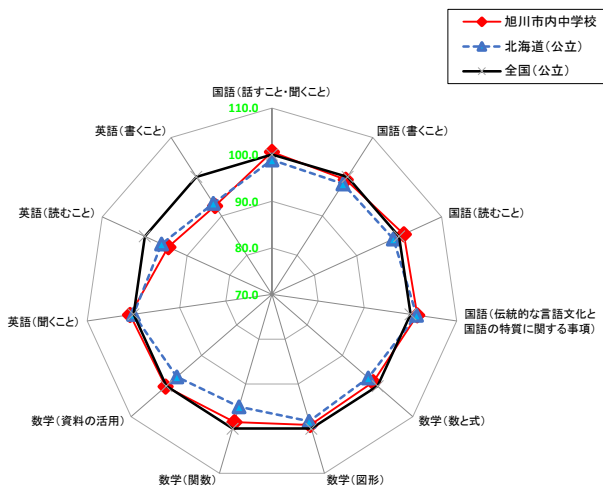
【旭川市の学力向上策】

- ◎ 確かな学力の育成を図る3つの柱である「学びを深める授業づくり」「落ち着いた学級づくり」「望ましい学習習慣づくり」に基づく取組の推進
- ◎ 「学力向上検証改善スケジュール」に基づいた、各学校における「学力向上ロードマップ」の作成
- ◎ 国語、算数・数学、英語及び学力向上を担当している教員とで構成した授業力向上プロジェクトチームによる全国学力・学習状況調査結果の分析を踏まえた「旭川版 指導の改善策」の作成と各学校・各種研修会等での活用
- ◎ 授業力向上プロジェクトチームメンバーを講師及び授業者とした、年3回の授業力向上研修会の実施
- ◎ 小・中学校8校を指定する旭川市教育実践推進事業の推進
- ◎ 「旭川市小中連携・一貫教育推進プラン」に基づく小中連携・一貫教育の推進
- ◎ 学生ボランティア等の市内小・中学校への派遣によるきめ細かい指導の充実
- ◎ 全小・中学校で導入しているオンライン教材を活用した、個に応じた指導の充実
- ◎ 市内の全中学校から生徒会役員を中心とするメンバーが集まり協議する「生活・学習Actサミット」による、児童生徒自らが生活習慣及び学習習慣を改善する取組の推進

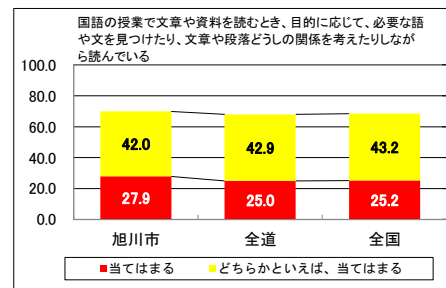
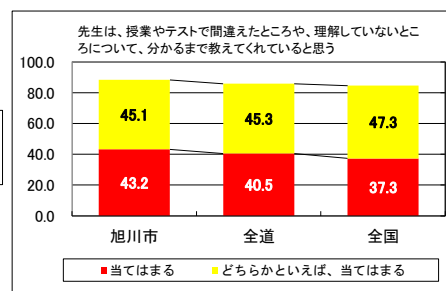
■旭川市内中学校の状況及び学力向上策(学校数:26校、生徒数:2394人)

【教科全体の状況】

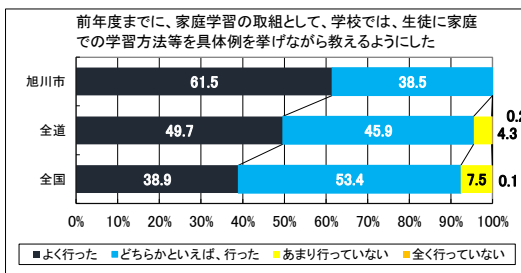
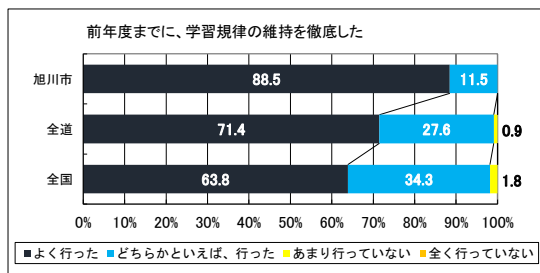
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教 科	○ 国語において、全国を上回っている。 ○ 国語では、「話すこと・聞くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、数学では、「資料の活用」、英語では、「聞くこと」で全国を上回っている。	○ 確かな学力育成プランの学びを深める授業づくりに基づき、授業改善に取り組んだことにより、「理解していないところなどを分かるまで教えてくれる」と回答した生徒が全国及び全道を上回ったり、「国語の授業で文章等を読むとき、目的に応じて、必要な語や文を見つたり、文章や段落どうしの関係を考えてりしながら読んでいる」と回答した生徒が全国を上回ったりしたと考えられる。
生徒質問紙	○ 「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思う」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「国語の授業で文章や資料を読むとき、目的に応じて、必要な語や文を見つたり、文章や段落どうしの関係を考えてりしながら読んでいる」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。	○ 確かな学力育成プランの落ち着いた学級づくりに基づき、学習規律の指導の重要性について共通理解を図ったことにより、「前年度までに、学習規律の維持を徹底した」と回答した学校が全国及び全道を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 「前年度までに、学習規律の維持を徹底した」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、児童に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えるようにした」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	○ 確かな学力育成プランの望ましい学習習慣づくりに基づき、効果的な宿題や家庭学習についての指導を重点的に行ったことにより、「家庭学習の取組として、学校では、生徒に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えるようにした」と回答した学校が全国及び全道を上回ったと考えられる。

【旭川市の学力向上策】

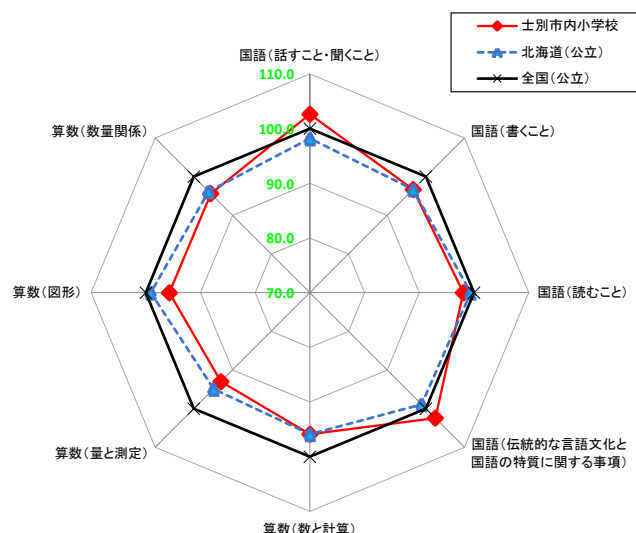
- ◎ 確かな学力の育成を図る3つの柱である「学びを深める授業づくり」「落ち着いた学級づくり」「望ましい学習習慣づくり」に基づく取組の推進
- ◎ 「学力向上検証改善スケジュール」に基づいた、各学校における「学力向上ロードマップ」の作成
- ◎ 国語、算数・数学、英語及び学力向上を担当している教員とで構成した授業力向上プロジェクトチームによる全国学力・学習状況調査結果の分析を踏まえた「旭川版 指導の改善策」の作成と各学校・各種研修会等での活用
- ◎ 授業力向上プロジェクトチームメンバーを講師及び授業者とした、年3回の授業力向上研修会の実施
- ◎ 小・中学校8校を指定する旭川市教育実践推進事業の推進
- ◎ 「旭川市小中連携・一貫教育推進プラン」に基づく小中連携・一貫教育の推進
- ◎ 学生ボランティア等の市内小・中学校への派遣によるきめ細かい指導の充実
- ◎ 全小・中学校で導入しているオンライン教材を活用した、個に応じた指導の充実
- ◎ 市内の全中学校から生徒会役員を中心とするメンバーが集まり協議する「生活・学習Actサミット」による、児童生徒自らが生活習慣及び学習習慣を改善する取組の推進

■士別市内小学校の状況及び学力向上策(学校数:6校、児童数:141人)

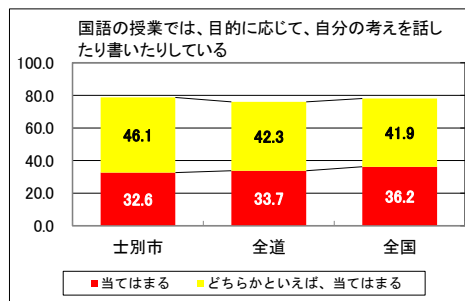
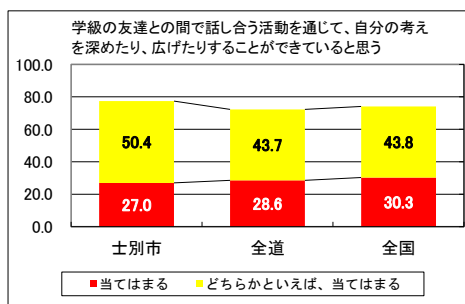
【教科全体の状況】

平均 正答率	国語	算数
	64	64

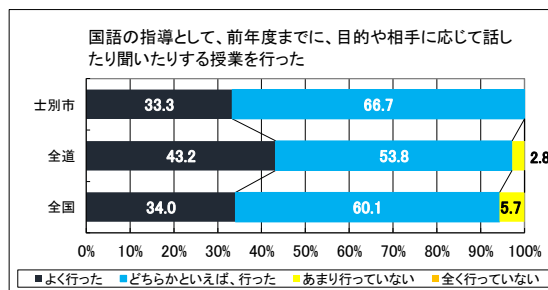
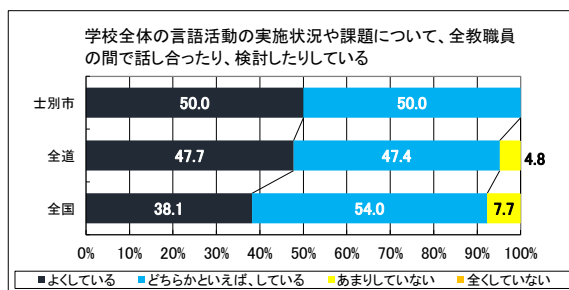
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語の正答率は、全国とほぼ同様である。 ○ 国語では、「話すこと・聞くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回っている。	○ 学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりしたことにより、児童が学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができるようになり、国語の「話すこと・聞くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	○ 「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりしている」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。	○ 国語の指導として、前年度までに、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行ったことにより、児童が国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりするようになり、国語の「話すこと・聞くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 「学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりしている」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「国語の指導として、前年度までに、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	

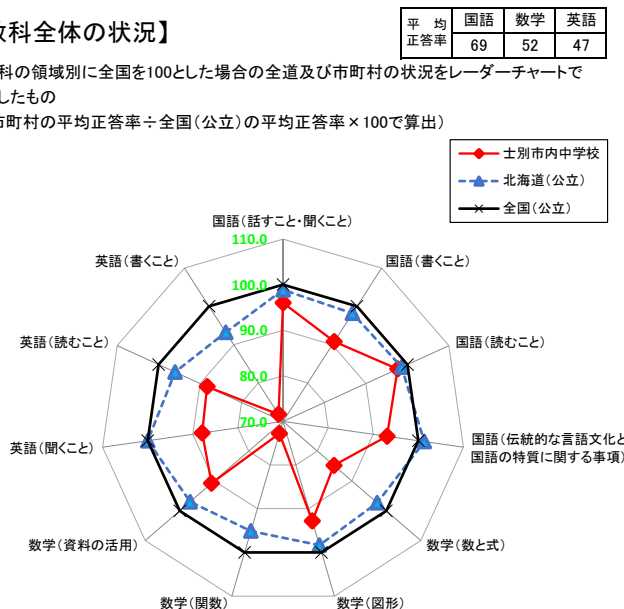
【士別市の学力向上策】

- ◎ 外国語教育の充実
- ◎ 複数の教員によるチーム体制での授業改善の推進
- ◎ 習熟度別少人数指導による指導形態の工夫
- ◎ 授業改善推進チーム(推進教員3名)による国語・算数の巡回指導の実施

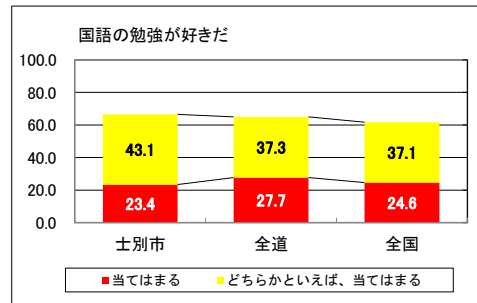
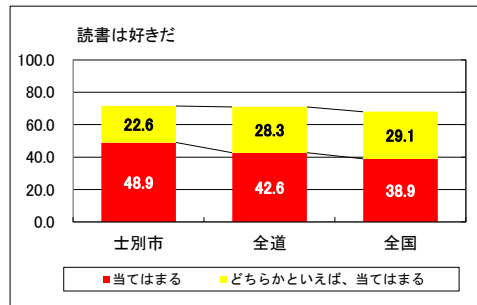
■士別市内中学校の状況及び学力向上策(学校数:5校、生徒数:138人)

【教科全体の状況】

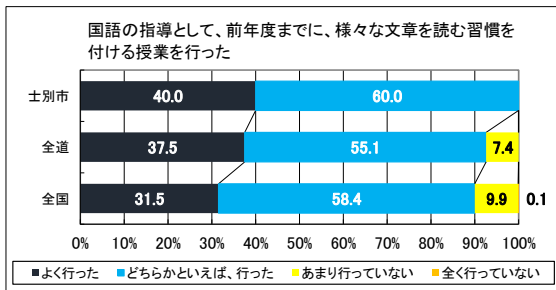
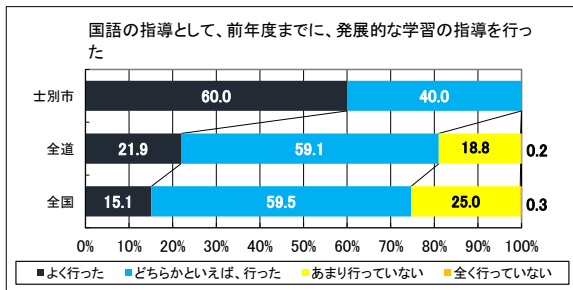
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語の正答率は、全国平均を下回るも、「読むこと」で全国に最も近い結果となっている。	○ 国語の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行ったことにより、生徒が国語の勉強が好きになり、国語の「読むこと」で全国に最も近くなったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「読書は好きだ」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「国語の勉強は好きだ」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。	○ 国語の指導として、前年度までに、様々な文章を読む習慣を付ける授業を行ったことにより、生徒が読書が好きになり、国語の「読むこと」で全国に最も近くなったと考えられる。
学校質問紙	○ 「国語の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「国語の指導として、前年度までに、様々な文章を読む習慣を付ける授業を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	

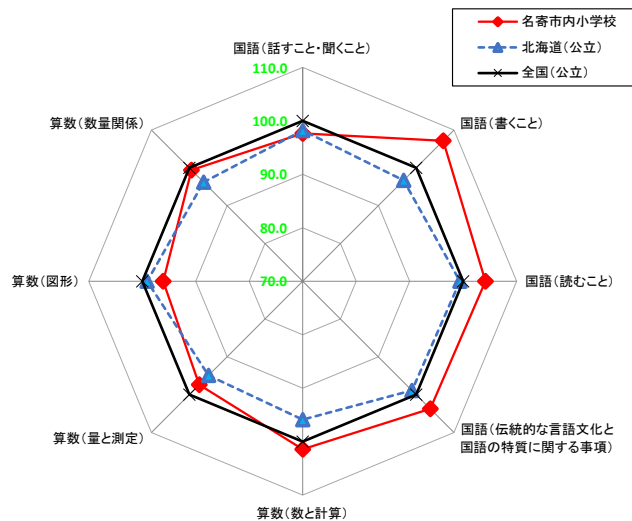
【士別市の学力向上策】

- ◎ 外国語教育の充実
- ◎ 複数の教員によるチーム体制での授業改善の推進
- ◎ 習熟度別少人数指導による指導形態の工夫

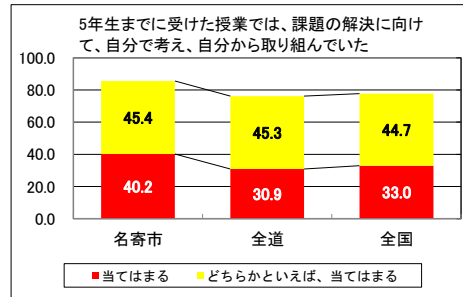
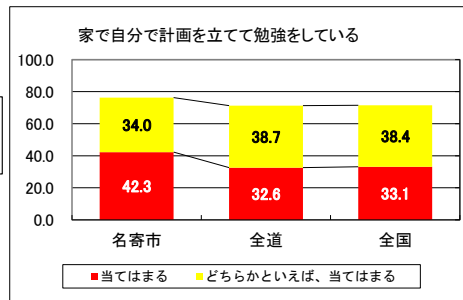
■名寄市内小学校の状況及び学力向上策(学校数:7校、児童数:194人)

【教科全体の状況】

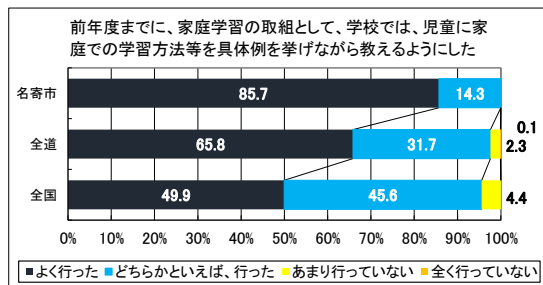
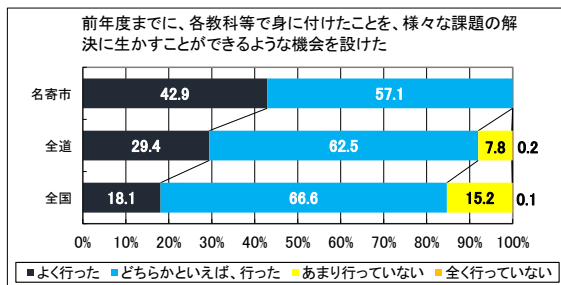
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語において、全国を上回っている。 ○ 国語では、「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、算数では、「数と計算」で全国を上回っている。	○ 前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けたことにより、児童が課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むようになり、国語の「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、算数の「数と計算」で全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	○ 「家で自分で計画を立てて勉強をしている」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思う」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。	○ 前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、児童に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えるようにしたことにより、児童が家で自分で計画を立てて勉強するようになり、国語の「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、算数の「数と計算」で全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 「前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けた」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、児童に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えるようにした」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	

【名寄市の学力向上策】

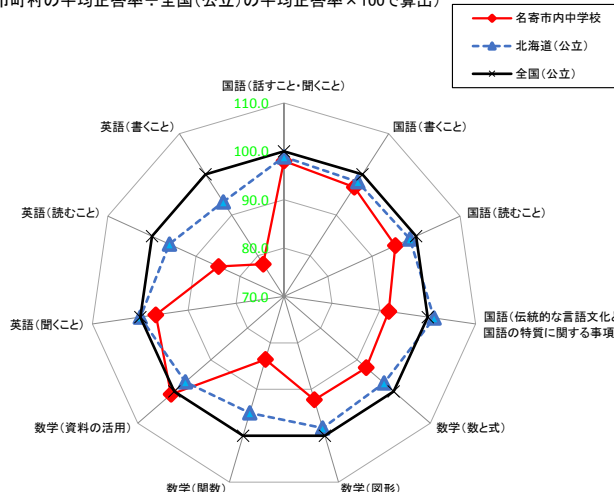
- ◎ 名寄市教育改善プロジェクトによる、市内小・中学校一体となった学習規律の確立と学力向上の取組の推進
- ◎ 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善及び書く活動を重視した取組の充実
- ◎ 学習内容の確実な定着に資する、家庭学習の評価・指導及び家庭への啓発を図る取組の推進

■名寄市内中学校の状況及び学力向上策(学校数:4校、生徒数:185人)

【教科全体の状況】

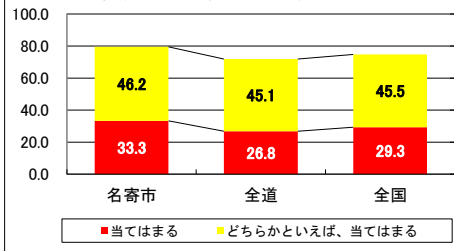
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

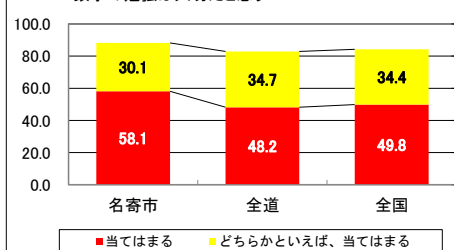


【生徒質問紙調査】

1,2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思う

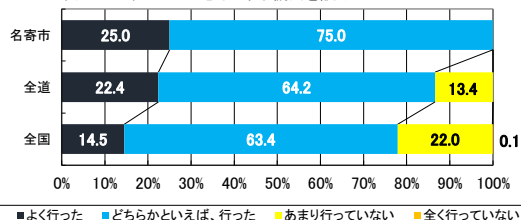


数学の勉強は大切だと思う

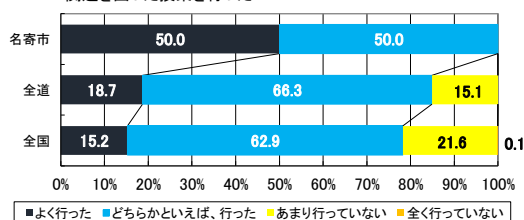


【学校質問紙調査】

前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けた



数学の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行った



【分析】

教科	○ 国語において、全国に最も近くなっている。 ○ 数学では、「資料の活用」で全国を上回り、国語では、「話すこと・聞くこと」、英語では、「聞くこと」で全国に最も近くなっている。	○ 前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けたことにより、生徒が課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むようになり、数学の「資料の活用」で全国を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「1,2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「数学の勉強は大切だと思う」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。	○ 数学の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行ったことにより、生徒が数学の勉強は大切だと思うようになり、数学の「資料の活用」で全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 「前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けた」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「数学の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	

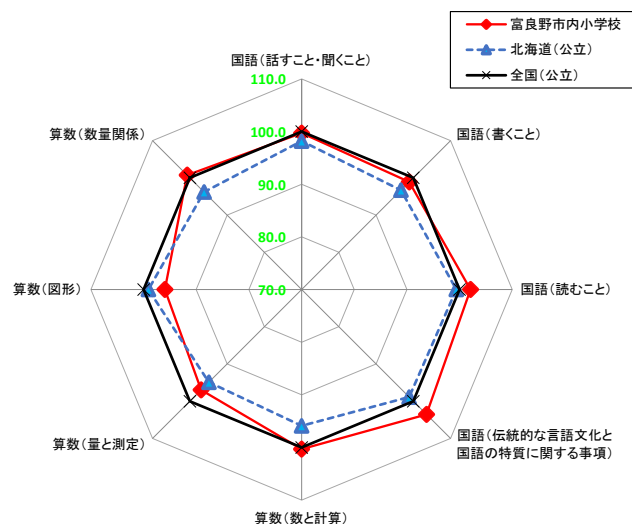
【名寄市の学力向上策】

- ◎ 名寄市教育改善プロジェクトによる、市内小・中学校一体となった学習規律の確立と学力向上の取組の推進
- ◎ 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善及び書く活動を重視した取組の充実
- ◎ 学習内容の確実な定着に資する、家庭学習の評価・指導及び家庭への啓発を図る取組の推進

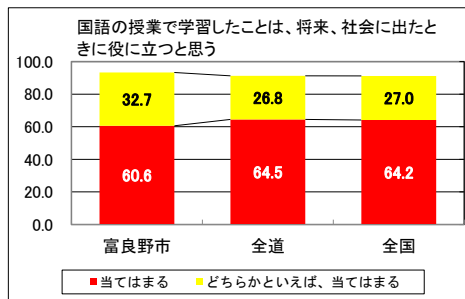
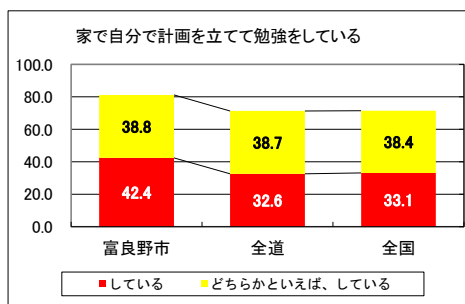
■富良野市内小学校の状況及び学力向上策(学校数:9校、児童数:165人)

【教科全体の状況】

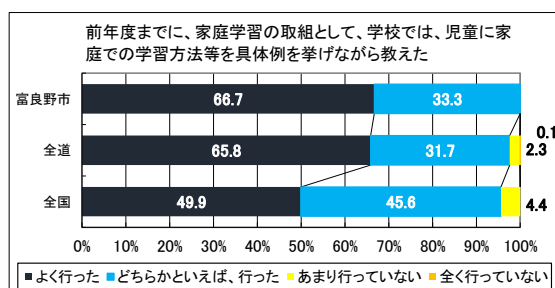
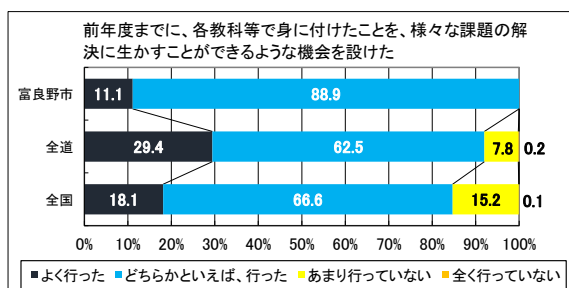
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語において、全国を上回っている。 ○ 国語では、「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、算数では、「数と計算」「数量関係」で全国を上回っている。	○ 前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けたことにより、児童が国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思うようになり、国語の「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	○ 「家で自分で計画を立てて勉強をしている」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。	○ 前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、児童に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えるようにしたことにより、児童が家で自分で計画を立てて勉強をするようになり、国語の「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、算数の「数と計算」「数量関係」で全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 「前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けた」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、児童に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えた」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	

【富良野市の学力向上策】

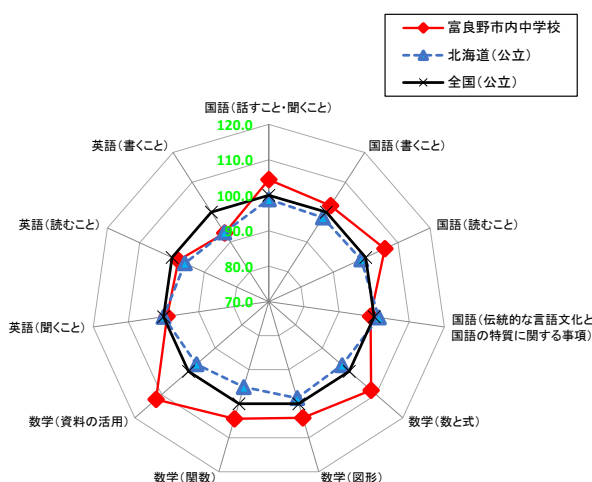
- ◎ 育成する資質・能力を明確にした指導計画の充実
- ◎ 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた指導の充実
- ◎ 一人一人のよさや可能性を伸ばす評価の工夫

富良野市内中学校の状況及び学力向上策(学校数:6校、生徒数:176人)

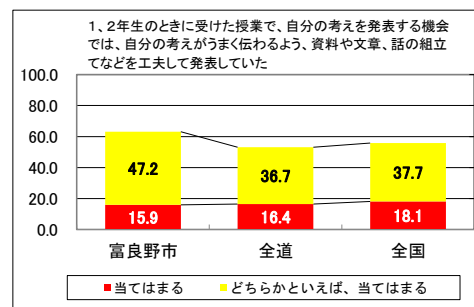
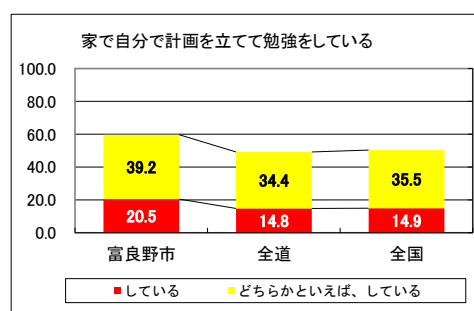
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

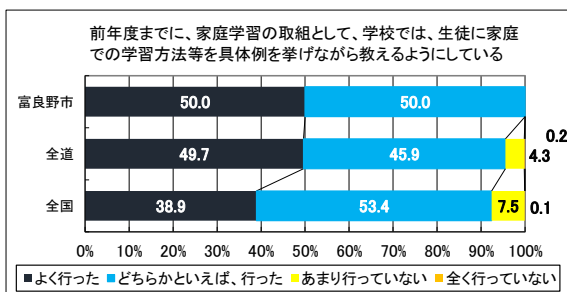
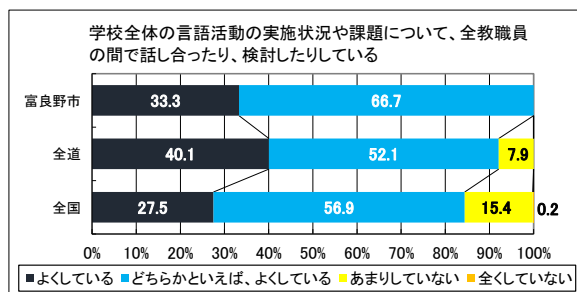
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語、数学において、全国を上回っている。 ○ 国語では、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」、数学では、全ての領域で全国を上回り、英語では、「読むこと」で全国に最も近くなっている。	○ 前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、生徒に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えたことにより、生徒が家で自分で計画を立てて勉強するようになり、国語の「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」、数学の全ての領域で全国を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「家で自分で計画を立てて勉強している」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。	○ 学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりしたことにより、生徒が授業で、自分の考えを発表する機会に、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表することができるようになり、国語の「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」、数学の全ての領域で全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 「学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりしている」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、生徒に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えるようにしている」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	

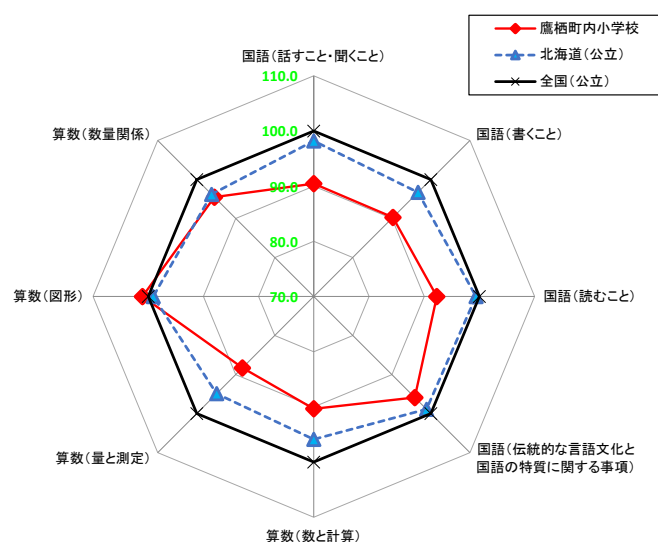
【富良野市の学力向上策】

- ◎ 育成する資質・能力を明確にした指導計画の充実
- ◎ 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた指導の充実
- ◎ 一人一人のよさや可能性を伸ばす評価の工夫

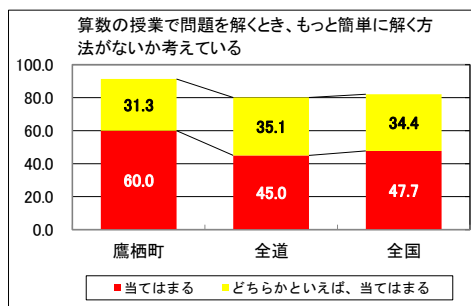
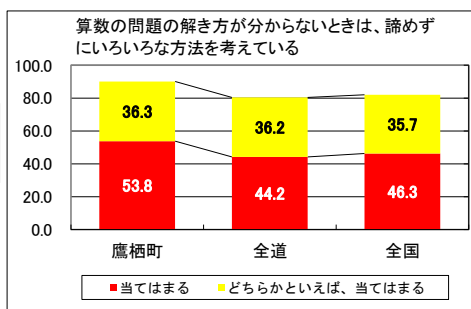
■鷹栖町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、児童数:80人)

【教科全体の状況】

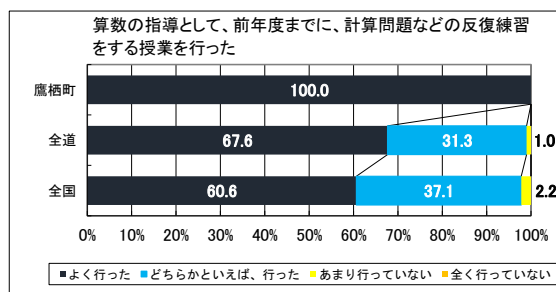
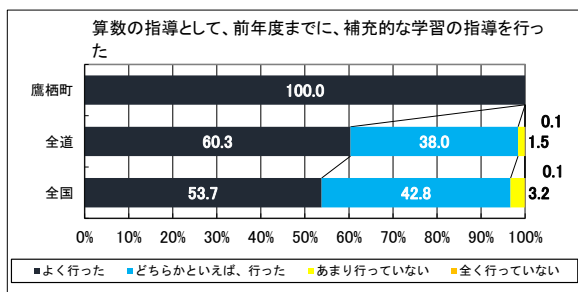
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 算数において、全国に最も近くなっている。 ○ 国語では、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国に最も近くなり、算数では、「図形」で全国を上回っている。	○ 算数の指導として、前年度までに、計算問題などの反復練習をする授業を行ったことにより、児童が算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えるようになり、算数の「図形」で全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	○ 「算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えている」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えている」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。	○ 算数の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行ったことにより、児童が算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えるようになり、算数の「図形」で全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 全ての学校が、「算数の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行った」と回答している。 ○ 全ての学校が、「算数の指導として、前年度までに、計算問題などの反復練習をする授業を行った」と回答している。	

【鷹栖町の学力向上策】

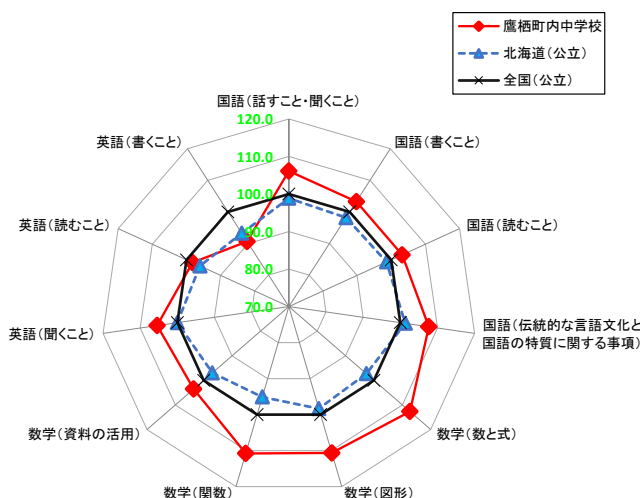
- ◎ 基礎的・基本的な内容の確実な定着を図り、活用する力を育成するためのチーム・ティーチングや習熟度別指導の充実
- ◎ 「放課後学習」による個別指導や、地域における土曜学習教室「がんばるど」、地域住民の協力によるきめ細かい指導の充実
- ◎ 子どもの学力を的確に捉え授業改善を推進するための教職員研修の実施
- ◎ 町独自の学習支援員を活用した授業や個別指導の充実

■鷹栖町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:85人)

【教科全体の状況】

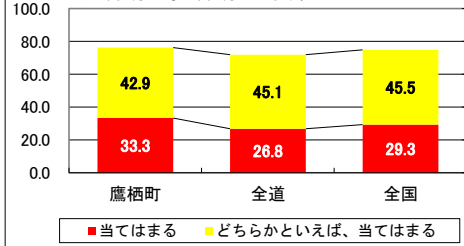
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

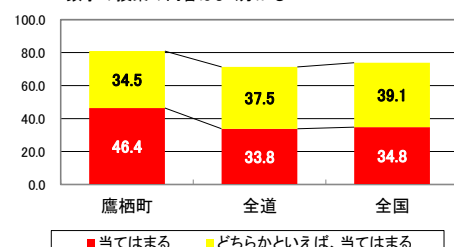


【生徒質問紙調査】

1,2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた

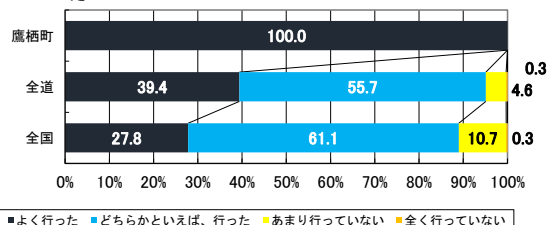


数学の授業の内容はよく分かる

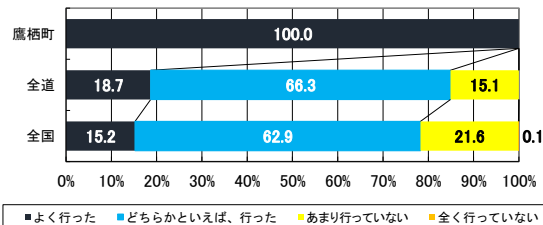


【学校質問紙調査】

国語の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行った



数学の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行った



【分析】

教科	○ 国語、数学において、全国を上回っている。 ○ 国語及び数学では、全ての領域で、英語では、「聞くこと」で全国を上回っている。	○ 国語の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導をよく行ったことにより、生徒が課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むようになり、国語の全ての領域で全国を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「1・2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「数学の授業の内容はよく分かる」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。	○ 数学の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業をよく行ったことにより、生徒が数学の授業の内容がよく分かるようになり、数学の全ての領域で全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 国語の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導をよく行った。 ○ 数学の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業をよく行った。	

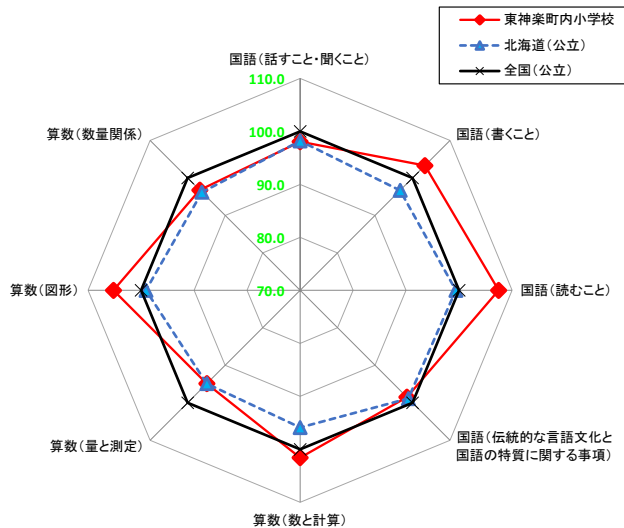
【鷹栖町の学力向上策】

- ◎ 基礎的・基本的な内容の確実な定着を図り活用する力を育成するためのチーム・ティーチングや習熟度別指導の充実
- ◎ 「放課後学習」による個別指導の実施
- ◎ 子どもの学力を的確に捉え授業改善を推進するための教職員研修の実施
- ◎ 町独自の学習支援員を活用した授業や個別指導の充実

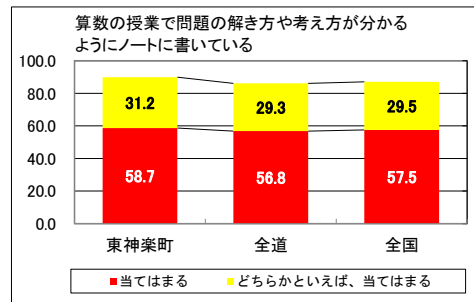
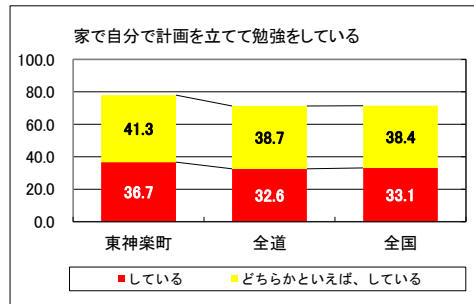
■東神楽町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:4校、児童数:109人)

【教科全体の状況】

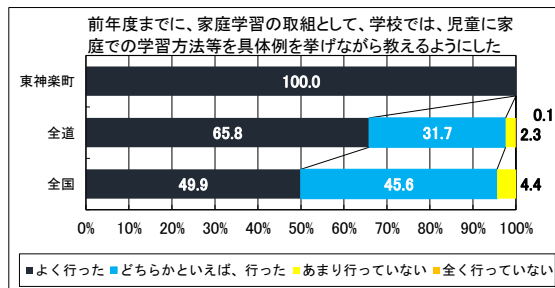
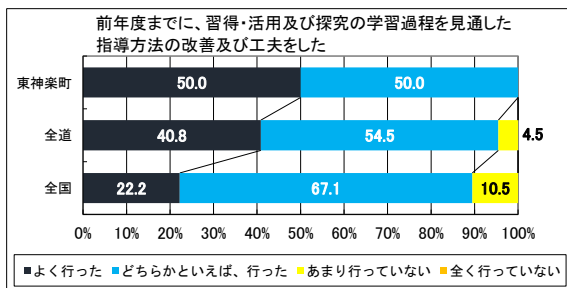
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語、算数において、全国を上回っている。 ○ 国語では、「書くこと」「読むこと」、算数では、「数と計算」「図形」で全国を上回っている。	○ 前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしたことにより、児童が算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書くようになり、算数の「数と計算」「図形」で全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	○ 「家で自分で計画を立てて勉強をしている」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。	○ 前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、児童に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えるようにしたことにより、児童が家で自分で計画を立てて勉強するようになり、国語の「書くこと」「読むこと」、算数の「数と計算」「図形」で全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 「前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をした」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 全ての学校が「前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、児童に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えるようにした」と回答している。	

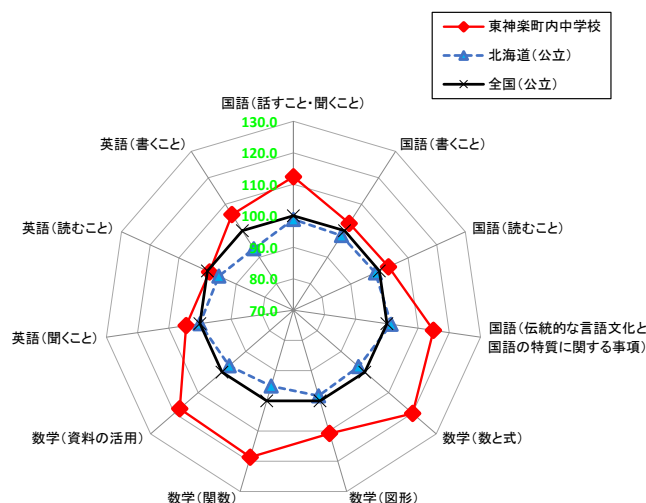
【東神楽町の学力向上策】

- ◎ 特色ある教育や確かな学力を育むための取組の推進に向けた指導主事の配置によるきめ細かい指導の充実
- ◎ 小中一貫の9年間を見据えた教育の充実に向けた取組の推進
- ◎ 各学校の状況や規模に応じた習熟度別学習・通級指導の実践及び加配教員や支援員などの確保による個に応じた指導

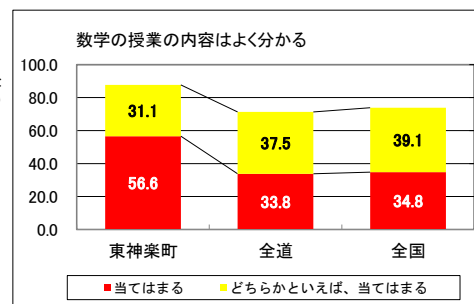
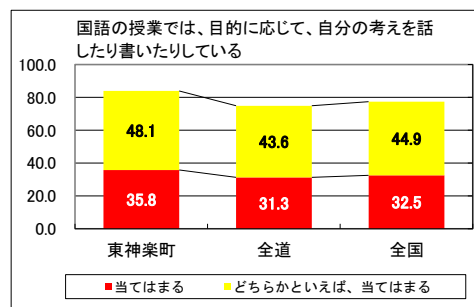
■東神楽町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:106人)

【教科全体の状況】

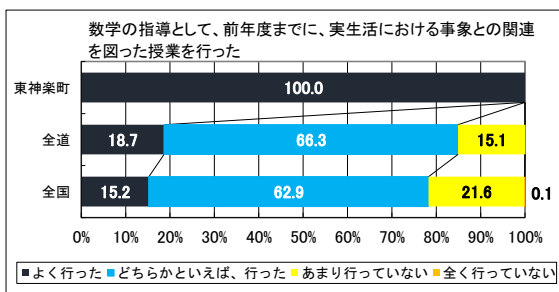
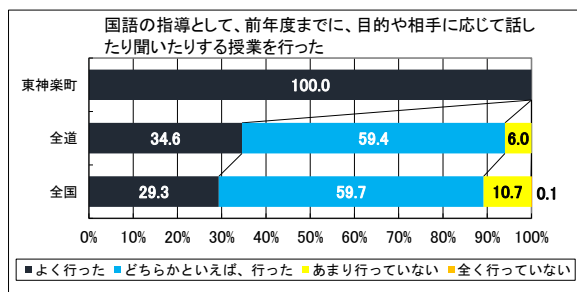
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 全ての教科において、全国を上回っている。 ○ 国語及び数学では、全ての領域で、英語では、「聞くこと」「書くこと」の領域で全国を上回っている。	○ 国語の指導として、前年度までに、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業をよく行ったことにより、生徒が国語の授業で、目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりするようになり、国語の全ての領域で全国を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりしている」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「数学の授業の内容はよく分かる」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。	○ 数学の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業をよく行ったことにより、生徒が数学の授業の内容がよく分かるようになり、数学の全ての領域で全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 国語の指導として、前年度までに、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業をよく行った。 ○ 数学の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業をよく行った。	

【東神楽町の学力向上策】

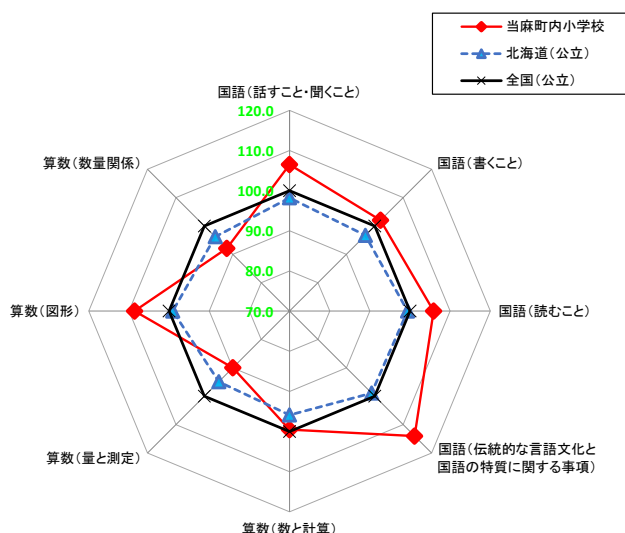
- ◎ 特色ある教育や確かな学力を育むための取組の推進に向けた指導主事の配置によるきめ細かい指導の充実
- ◎ 小中一貫の9年間を見据えた教育の充実に向けた取組の推進
- ◎ 各学校の状況や規模に応じた習熟度別学習・通級指導の実践及び加配教員や支援員などの確保による個に応じた指導の充実

■当麻町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、児童数:42人)

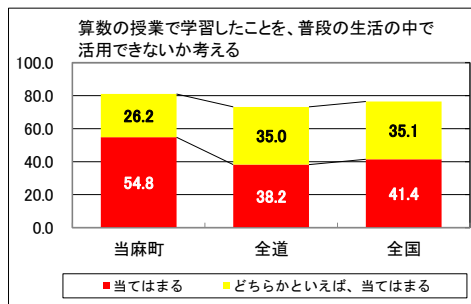
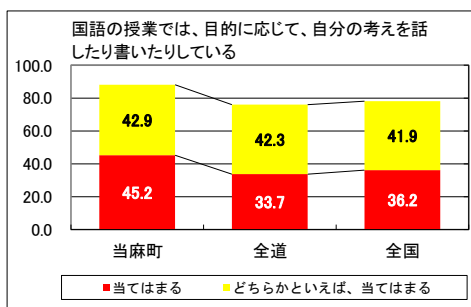
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものの

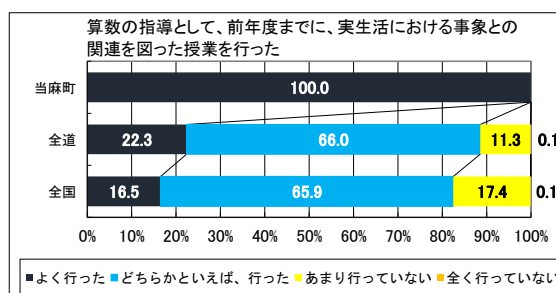
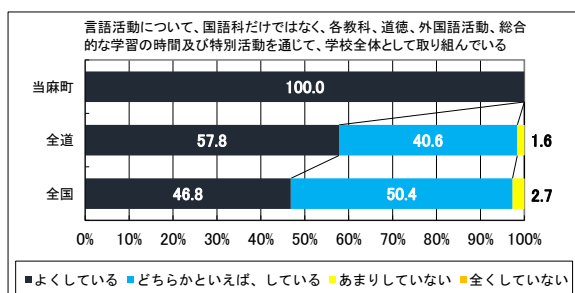
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語において、全国を上回っている。 ○ 国語では、全ての領域で、算数では、「図形」で全国を上回っている。	○ 言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体としてよく取り組んだことにより、児童が国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりするようになり、国語の全ての領域で全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	○ 「国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりしている」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考える」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。	○ 算数の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業をよく行ったことにより、児童が算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えるようになり、算数の「図形」で全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体としてよく取り組んだ。 ○ 算数の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業をよく行った。	

【当麻町の学力向上策】

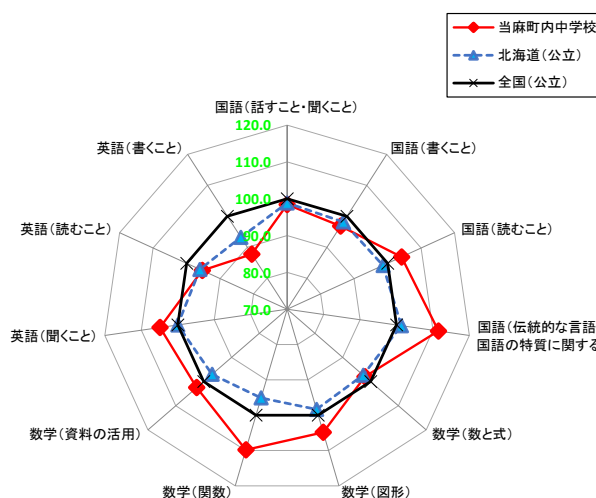
- ◎ チャレンジテストの効果的な活用及び長期休業中の学習チャレンジ教室の実施による学力向上の取組の充実
- ◎ 各学校への学習支援員及び英会話講師の配置による児童の学習状況に応じた指導の充実
- ◎ 各学校への英会話講師の配置による外国語でのコミュニケーション活動の充実

■当麻町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:55人)

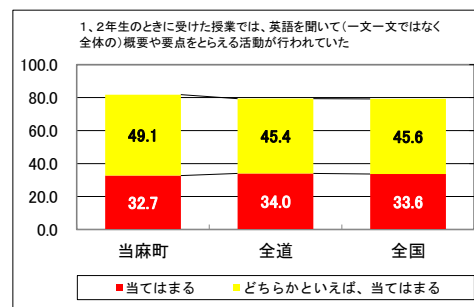
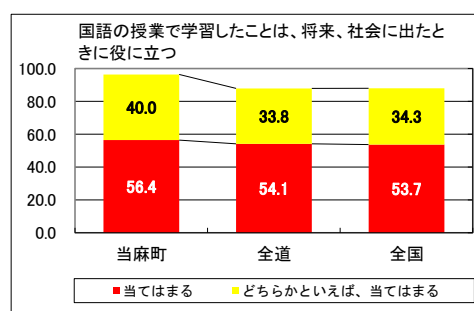
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

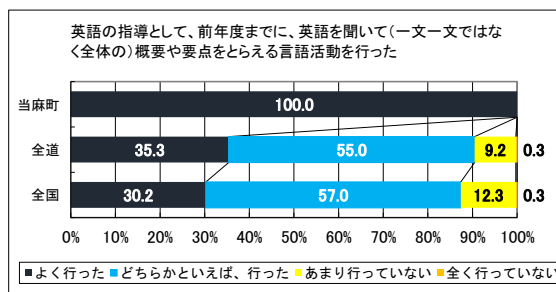
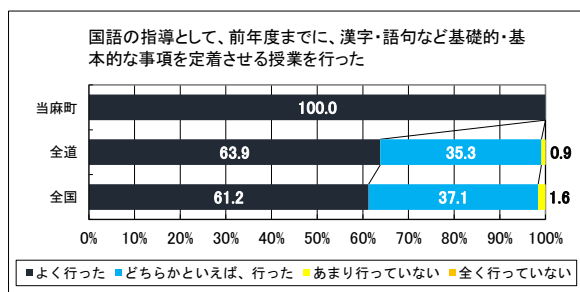
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語、数学において、全国を上回っている。 ○ 国語では、「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、数学では、「図形」「関数」「資料の活用」、英語では、「聞くこと」で全国を上回っている。	○ 国語の指導として、前年度までに、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業をよく行ったことにより、生徒が国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思うようになり、国語の「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「1,2年生のときに受けた授業では、英語を聞いて(一文一文ではなく全体の)概要や要点をとらえる活動が行われていたと思う」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。	○ 英語の指導として、前年度までに、英語を聞いて(一文一文ではなく全体の)概要や要点をとらえる言語活動をよく行ったことにより、生徒が英語を聞いて(一文一文ではなく全体の)概要や要点をとらえるようになり、英語の「聞くこと」で全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 国語の指導として、前年度までに、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業をよく行った。 ○ 英語の指導として、前年度までに、英語を聞いて(一文一文ではなく全体の)概要や要点をとらえる言語活動をよく行った。	

【当麻町の学力向上策】

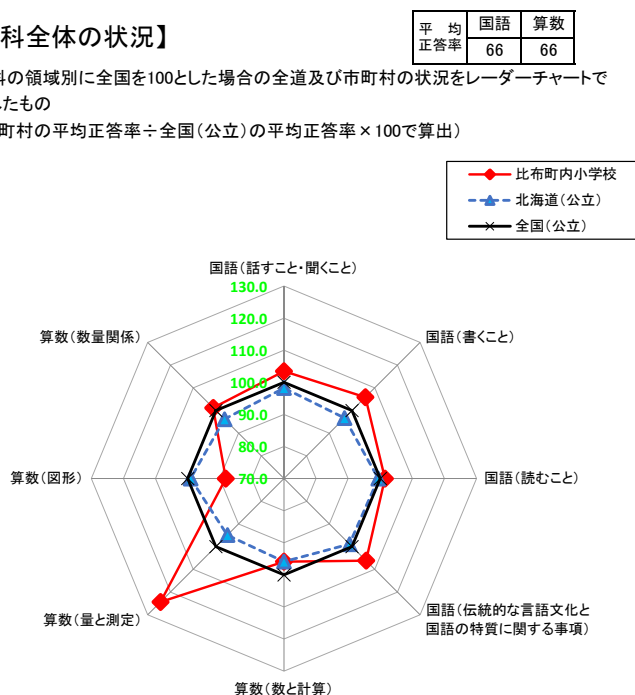
- ◎ チャレンジテストの効果的な活用及び長期休業中の学習チャレンジ教室の実施による学力向上の取組の実施
- ◎ 各学校への学力向上外部講師及び英会話講師の配置による生徒の学習状況に応じた指導の充実
- ◎ 各学校への英会話講師の配置による外国語でのコミュニケーション活動の充実

■比布町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、児童数:37人)

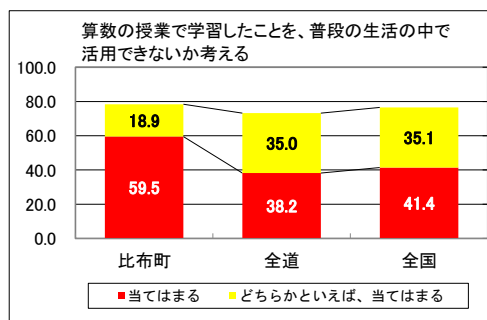
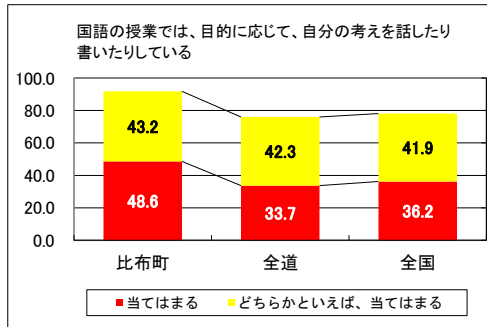
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

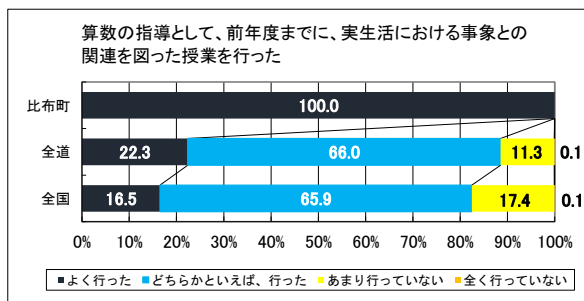
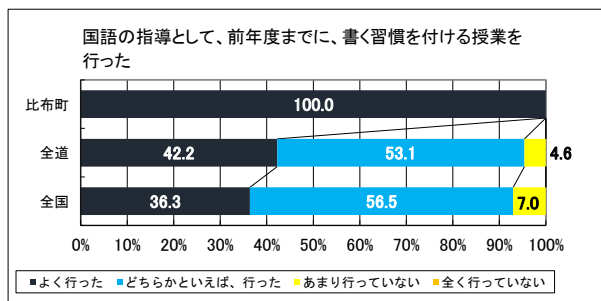
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語において、全国を上回っている。 ○ 国語では、全ての領域で、算数では、「量と測定」「数量関係」で全国を上回っている。	○ 国語の指導として、前年度までに、書く習慣を付ける授業をよく行ったことにより、児童が目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりするようになり、国語の全ての領域で全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	○ 「国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりしている」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考える」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。	○ 算数の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業をよく行ったことにより、児童が算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えるようになり、算数の「量と測定」「数量関係」で全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 国語の指導として、前年度までに、書く習慣を付ける授業をよく行った。 ○ 算数の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業をよく行った。	

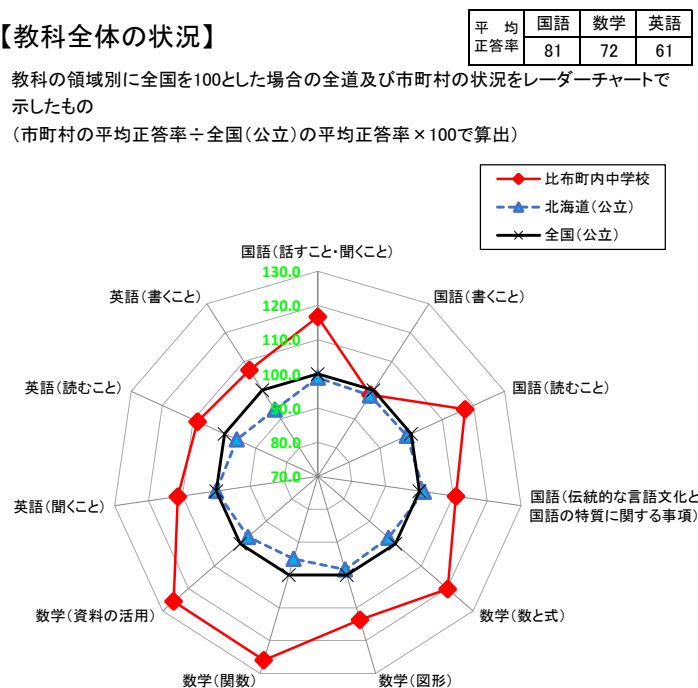
【比布町の学力向上策】

- ◎ 児童用タブレットの導入など、指導方法の工夫・改善に向けた教育環境の整備
- ◎ 義務教育9年間を見通した系統性・連続性に配慮した指導の充実
- ◎ 基礎的・基本的な内容の確実な定着を図る習熟度別指導、放課後及び長期休業期間における補充学習の実施

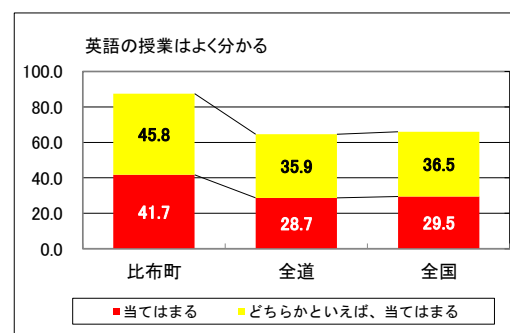
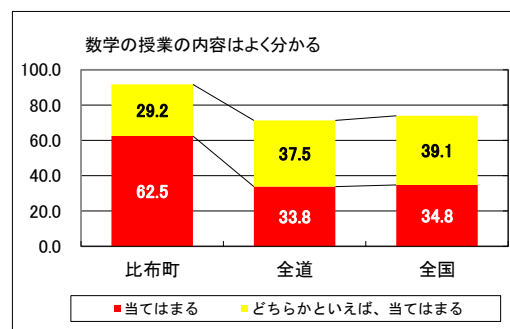
■比布町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:24人)

【教科全体の状況】

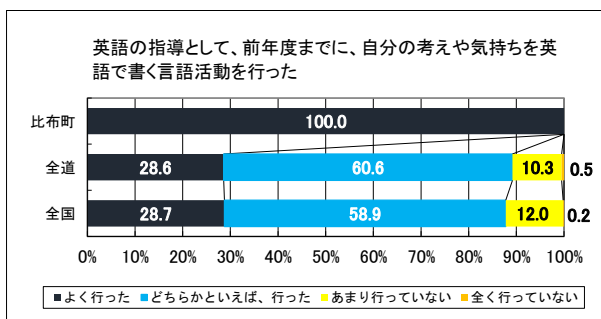
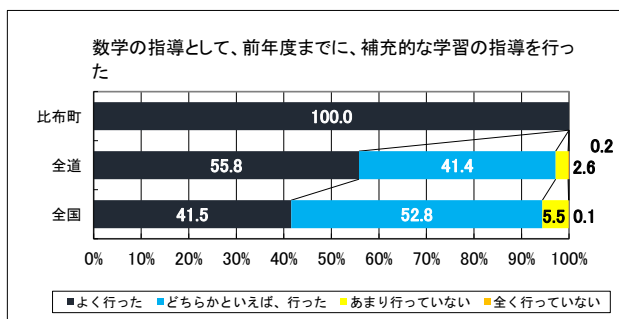
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 全ての教科において、全国を上回っている。 ○ 数学及び英語では、全ての領域で、国語では、「話すこと・聞くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回っている。	○ 数学の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導をよく行ったことにより、生徒が数学の授業の内容がよく分かるようになり、数学の全ての領域で全国を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「数学の授業の内容はよく分かる」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「英語の授業はよく分かる」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。	○ 英語の指導として、前年度までに、自分の考えや気持ちを英語で書く言語活動をよく行ったことにより、生徒が英語の授業がよく分かるようになり、英語の全ての領域で全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 数学の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導をよく行った。 ○ 英語の指導として、前年度までに、自分の考えや気持ちを英語で書く言語活動をよく行った。	

【比布町の学力向上策】

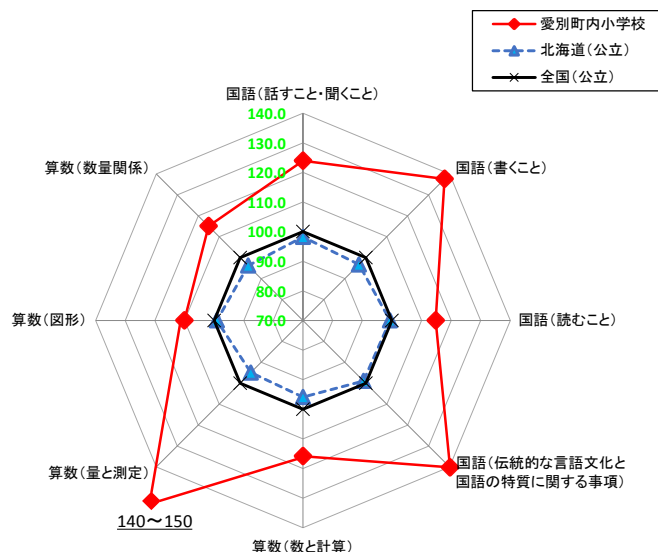
- ◎ 生徒用タブレットの導入など指導方法の工夫・改善に向けた教育環境の整備
- ◎ 義務教育9年間を見通した系統性・連続性に配慮した指導の充実
- ◎ 基礎的・基本的な内容の着実な定着を図る習熟度別指導、放課後及び長期休業期間における補充的学習の実施

■愛別町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、児童数:16人)

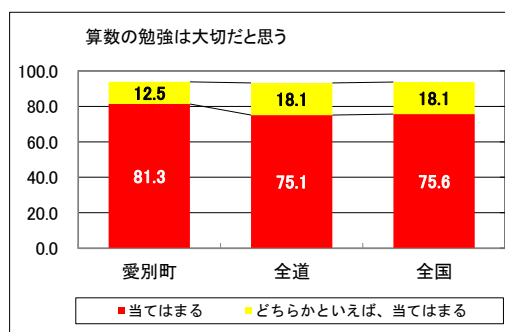
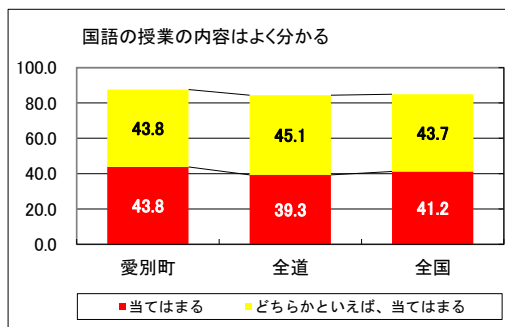
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

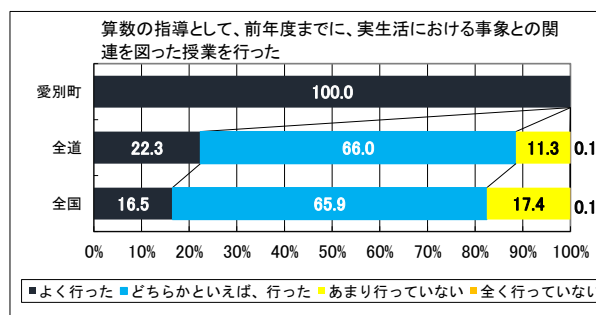
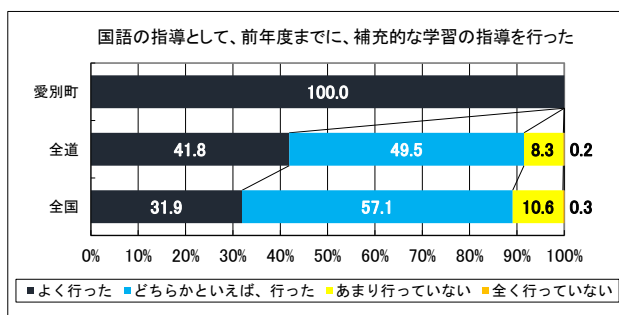
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語、算数において、全国を上回っている。 ○ 国語及び算数では、全ての領域で全国を上回っている。	○ 国語の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導をよく行ったことにより、児童が国語の授業の内容がよく分かるようになり、国語の全ての領域で全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	○ 「国語の授業の内容はよく分かる」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「算数の勉強は大切だと思う」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。	○ 算数の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業をよく行ったことにより、児童が算数の勉強は大切だと思うようになり、算数の全ての領域で全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 国語の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導をよく行った。 ○ 算数の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業をよく行った。	

【愛別町の学力向上策】

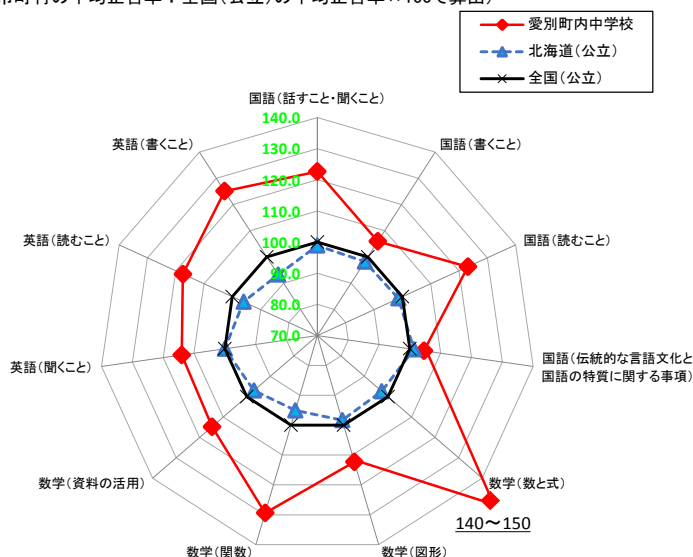
- ◎ ICT機器を活用した授業改善
- ◎ 学習の手引を活用した家庭学習の習慣化及び規則正しい生活習慣づくりの推進
- ◎ 「愛別町学校間連携プラン新愛×愛プラン」による学校間の円滑な接続に向けた幼小中の連携の推進

■愛別町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:12人)

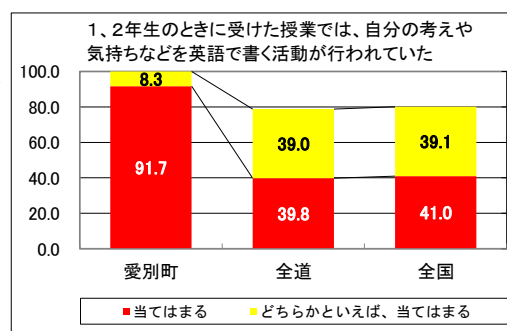
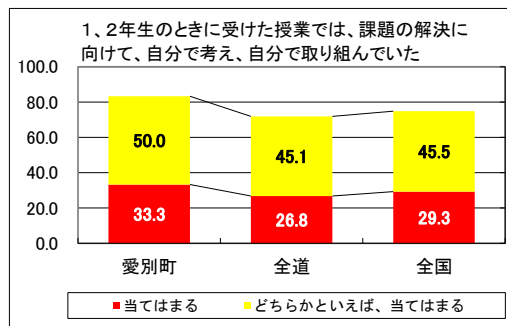
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

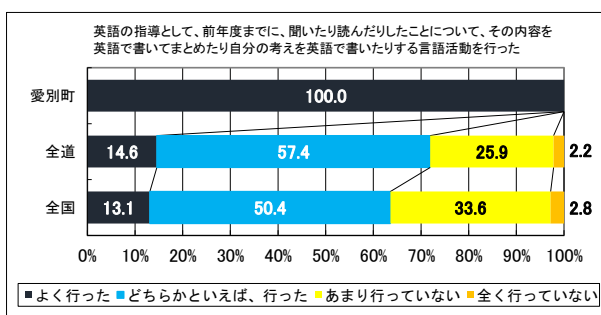
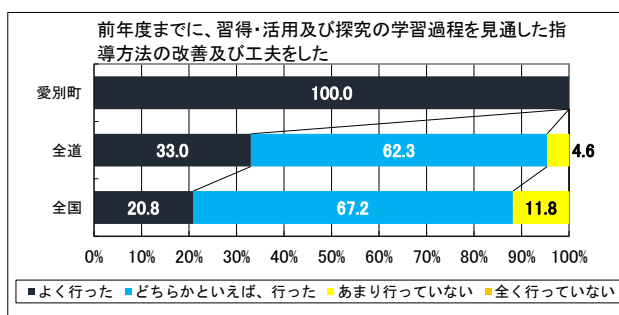
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 全ての教科で、全国を上回っている。 ○ 全ての教科の全ての領域で全国を上回っている。	○ 前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をよく行ったことにより、生徒が課題の解決に向けて、自分で考え、自分で取り組むようになり、全ての教科の全ての領域で、全国を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分で取り組んでいた」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「1、2年生のときに受けた授業では、自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていた」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。	○ 英語の指導として、前年度までに、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする言語活動をよく行ったことにより、生徒が自分の考えや気持ちなどを英語で書くようになり、英語の全ての領域で全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をよく行った。 ○ 英語の指導として、前年度までに、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする言語活動をよく行った。	

【愛別町の学力向上策】

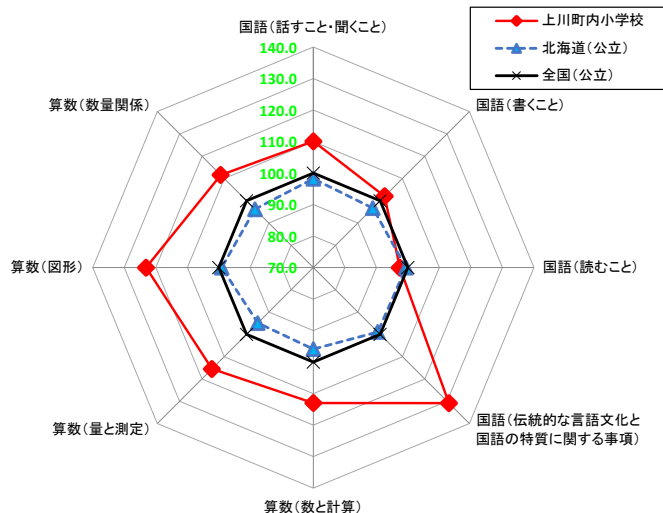
- ◎ ICT機器を活用した授業改善の推進
- ◎ 外国語指導助手の配置による英語力や国際的感覚、行動力を身に付ける英語教育の推進
- ◎ 「愛別町学校間連携プラン新愛×愛プラン」による学校間の円滑な接続に向けた幼小中の連携の推進

■上川町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、児童数:18人)

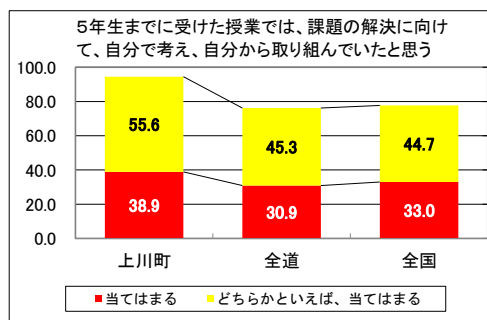
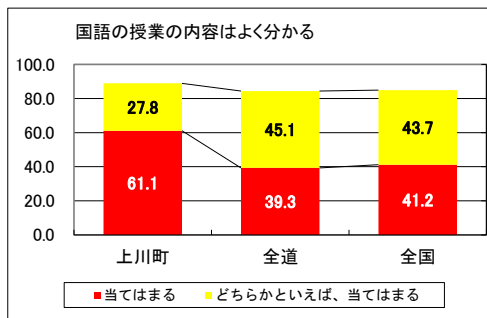
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

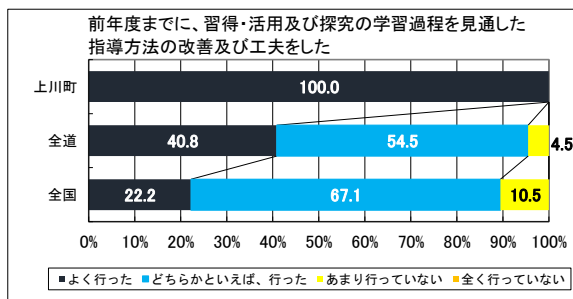
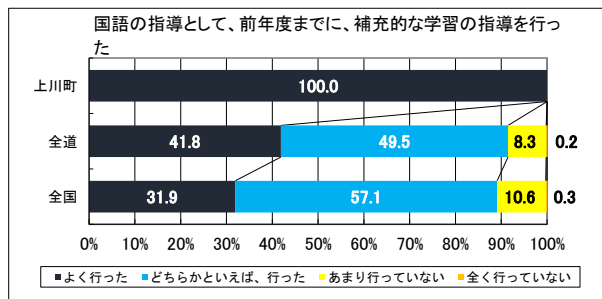
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語、算数において、全国を上回っている。 ○ 国語では、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、算数では全ての領域で全国を上回っている。	○ 国語の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導をよく行ったことにより、児童が国語の授業の内容がよく分かるようになり、国語の「話すこと・聞くこと」「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	○ 「国語の授業の内容はよく分かる」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思う」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。	○ 前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をよく行ったことにより、児童が課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むようになり、国語の「話すこと・聞くこと」「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、算数の全ての領域で全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 国語の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導をよく行った。 ○ 前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をよく行った。	

【上川町の学力向上策】

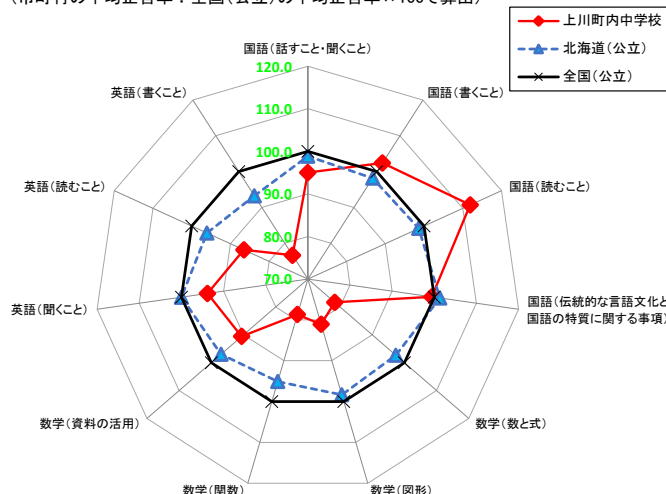
◎ 習熟の程度に応じた指導やチーム・ティーチングの実施などによるきめ細かな指導の充実 ◎ 学力向上に向けたICT環境の整備 ◎ 教職員の資質・能力の向上に向けた町教育研究会などへの支援
--

■上川町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:26人)

【教科全体の状況】

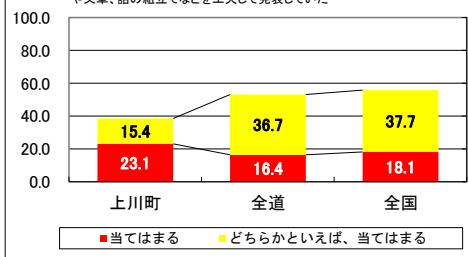
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

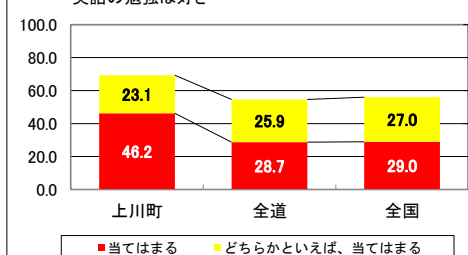


【生徒質問紙調査】

自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた

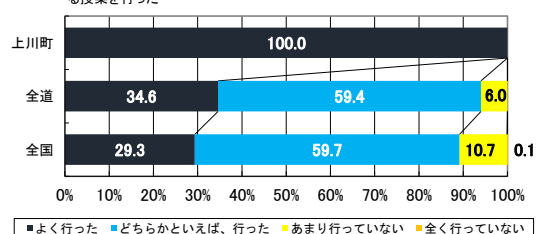


英語の勉強は好き

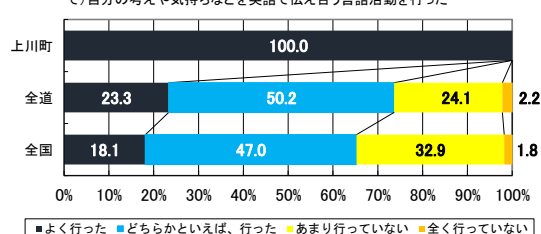


【学校質問紙調査】

国語の指導として、前年度までに、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行った



英語の指導として、前年度までに、原稿などの準備をすることなく、(即興で)自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う言語活動を行った



【分析】

教科	○ 国語において、全国を上回っている。 ○ 国語では、「書くこと」「読むこと」で全国を上回っており、数学では、「資料の活用」、英語では、「聞くこと」で全国に最も近くなっている。	○ 国語の指導として、前年度までに、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業をよく行ったことにより、生徒が、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表できるようになり、国語の「書くこと」「読むこと」で全国を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「英語の勉強は好き」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。	○ 英語の指導として、前年度までに、原稿などの準備をすることなく、(即興で)自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う言語活動をよく行ったことにより、生徒が英語の勉強が好きになり、英語の「聞くこと」で全国に最も近くなったと考えられる。
学校質問紙	○ 国語の指導として、前年度までに、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業をよく行った。 ○ 英語の指導として、前年度までに、原稿などの準備をすることなく、(即興で)自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う言語活動をよく行った。	

【上川町の学力向上策】

- ◎ 数学は「社会に出たときに役立つ」と考える生徒の学習意欲を失わないように、少人数指導の実施などによる一人一人にきめ細やかで丁寧な学習指導の充実
- ◎ 学力向上に向けたICT環境の整備
- ◎ 教職員の資質・能力の向上に向けた町教育研究会などへの支援

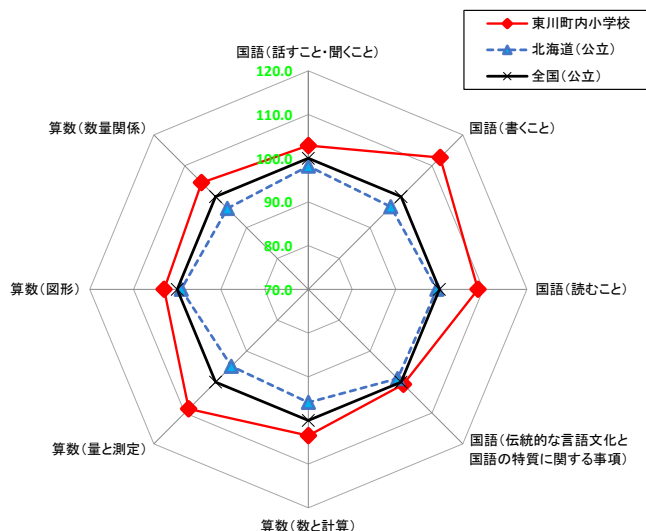
■東川町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:4校、児童数:69人)

【教科全体の状況】

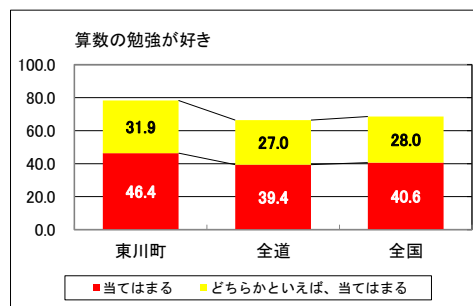
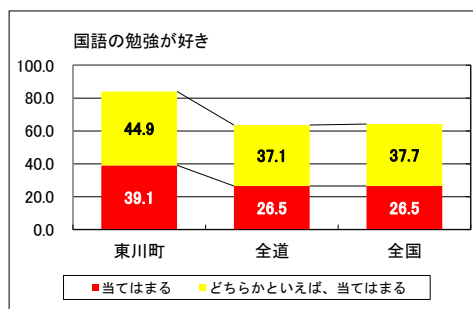
平均 正答率	国語	算数
67	69	

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

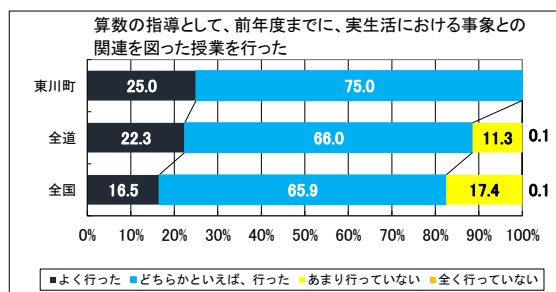
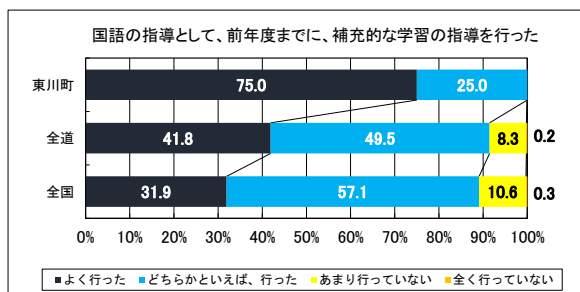
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 全ての教科において、全国を上回っている。 ○ 国語及び算数では、全ての領域で全国を上回っている。	○ 国語の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行ったことにより、児童が国語の勉強が好きになり、国語の全ての領域で全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	○ 「国語の勉強が好き」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「算数の勉強が好き」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。	○ 算数の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行ったことにより、児童が算数の勉強が好きになり、算数の全ての領域で全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 「国語の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「算数の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	

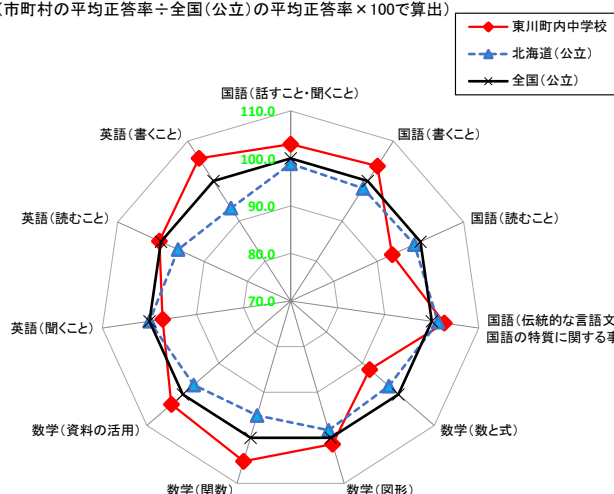
【東川町の学力向上策】

- ◎ 質の高い授業に向けた校内研修や先進地視察などの教職員研修の充実
- ◎ 学習支援員、教育補助員、特別支援教育支援員の配置による習熟の程度に応じた指導等の充実
- ◎ 放課後学習「ゆめスクール」による児童の学習内容の確実な定着に向けた取組の推進

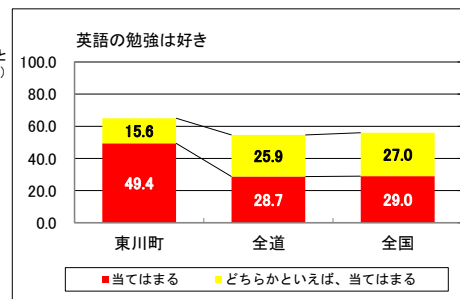
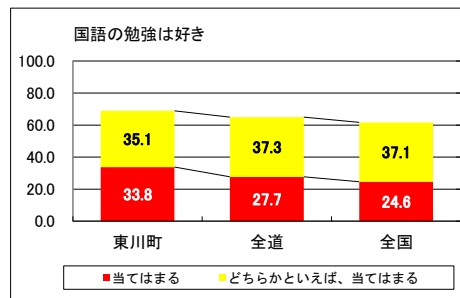
■東川町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:77人)

【教科全体の状況】

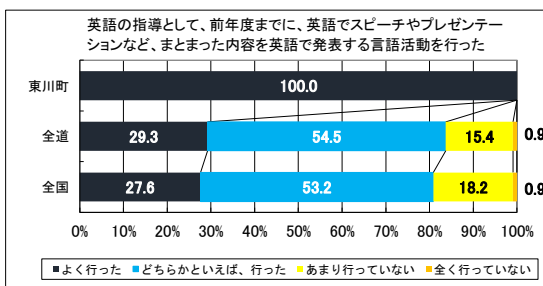
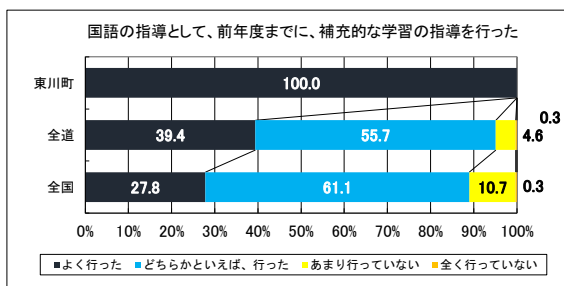
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語において、全国を上回っており、英語において、全国と同じである。 ○ 国語では、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、数学では、「図形」「関数」「資料の活用」、英語では、「読むこと」「書くこと」で全国を上回っている。
生徒質問紙	○ 「国語の勉強は好き」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「英語の勉強は好き」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。
学校質問紙	○ 国語の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導をよく行った。 ○ 英語の指導として、前年度までに、英語でスピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する言語活動をよく行った。

【東川町の学力向上策】

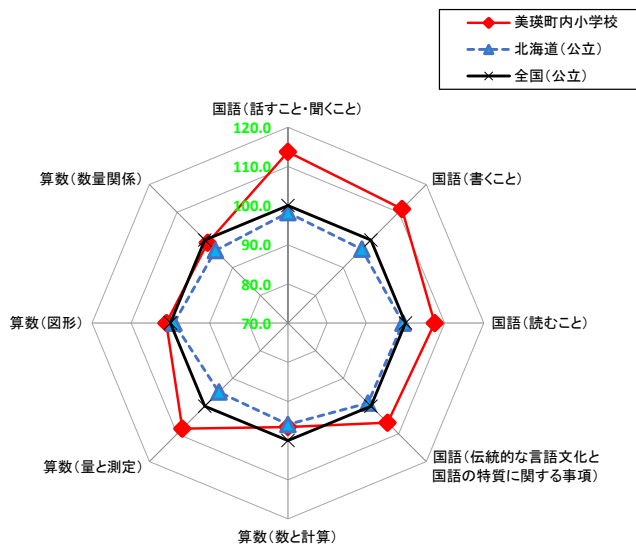
- ◎ 質の高い授業に向けた校内研修や先進地視察などの教職員研修の充実
- ◎ 学習支援員、教育補助員、特別支援教育支援員の配置による習熟の程度に応じた指導等の充実
- ◎ 放課後学習サポート及び「地域未来塾」による生徒の学習内容の確実な定着に向けた取組の推進

■美瑛町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:5校、児童数:60人)

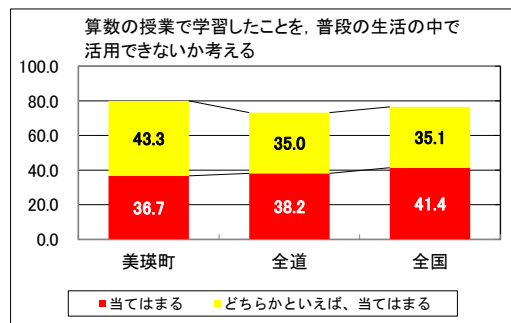
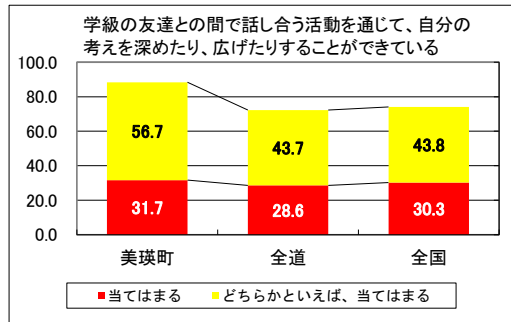
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

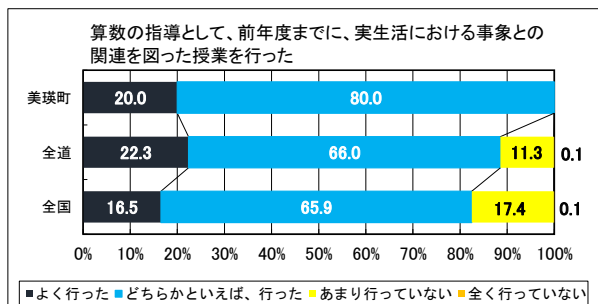
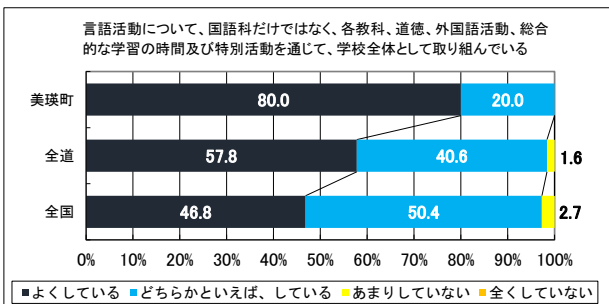
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 全ての教科において、全国を上回っている。 ○ 国語では、全ての領域、算数では、「量と測定」「図形」で全国を上回っている。	○ 言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んだことにより、児童が学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができるようになり、国語の全ての領域、算数の「量と測定」「図形」で全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	○ 「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考える」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。	○ 算数の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行ったことにより、児童が算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えるようになり、算数の「量と測定」「図形」で全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 「言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいる」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「算数の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	

【美瑛町の学力向上策】

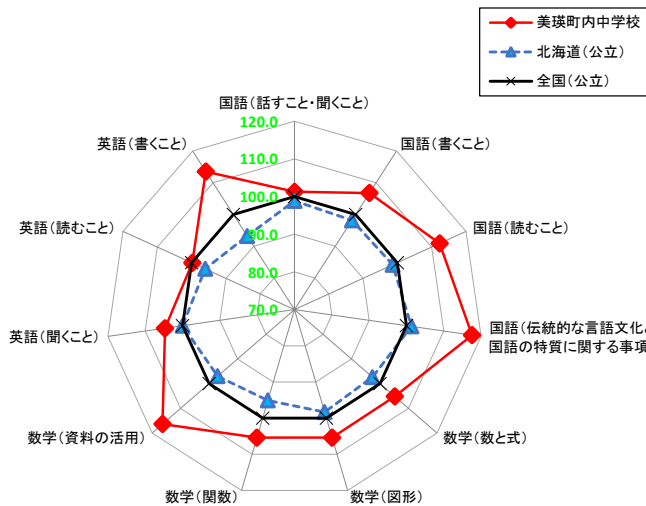
- ◎ 指導方法の向上を目的とした先進地視察及びプログラミング的思考の育成に向けた研修などの教職員研修の充実
- ◎ 「学習ルーム」の開設や「土曜学習」の実施による児童の学習習慣の改善と基礎学力の定着を図る取組の充実
- ◎ ICT機器の活用による授業の質的向上に向けた取組の推進

■美瑛町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、生徒数:76人)

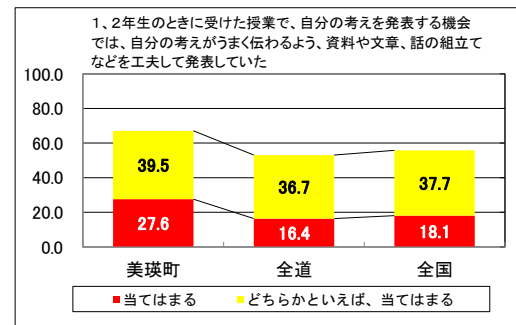
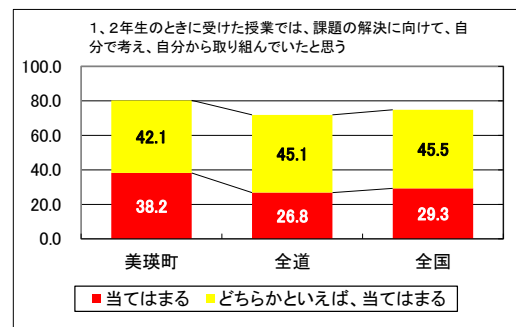
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

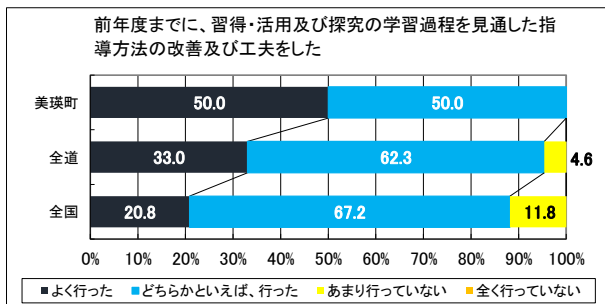
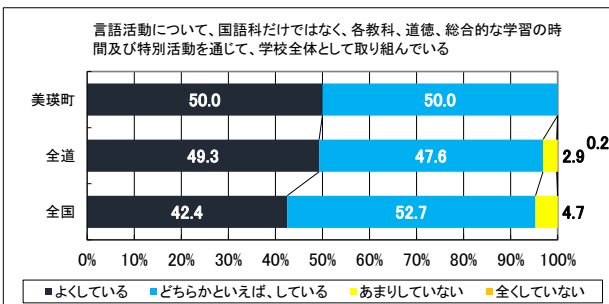
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 全ての教科において、全国を上回っている。 ○ 国語及び数学では、全ての領域、英語では、「聞くこと」「書くこと」で全国を上回っている。	○ 言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んだことにより、生徒が自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表するようになり、国語及び数学の全ての領域、英語の「聞くこと」「書くこと」で全国を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思う」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。	○ 前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしたことにより、生徒が課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むようになり、国語及び数学の全ての領域、英語の「聞くこと」「書くこと」で全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 「言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいる」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をした」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	

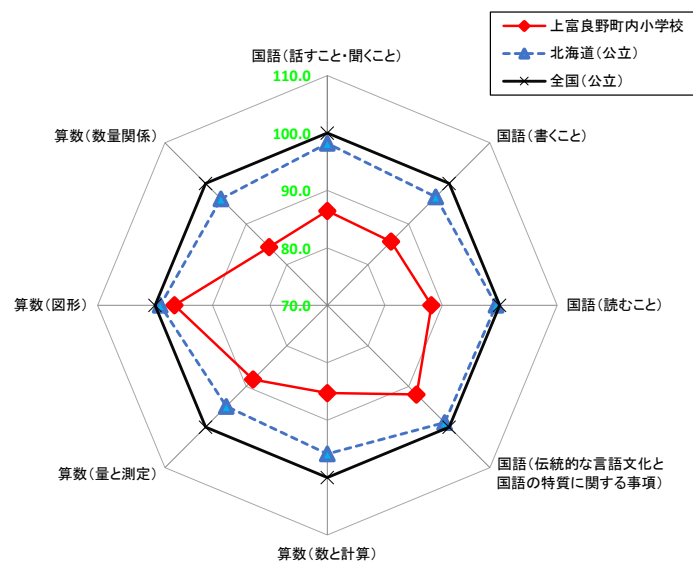
【美瑛町の学力向上策】

- ◎ 指導方法の向上を目的とした先進地視察及びプログラミング的思考の育成に向けた研修などの教職員研修の充実
- ◎ 生徒の思考力形成に向けた読書環境及び学習環境の充実
- ◎ ICT機器の活用による授業の質的向上に向けた取組の推進

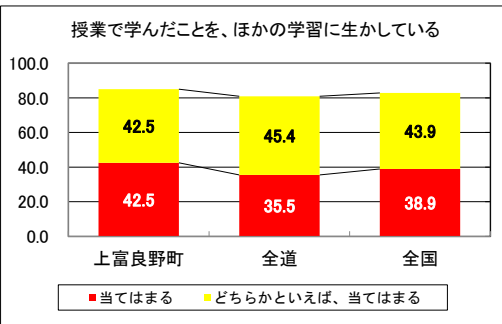
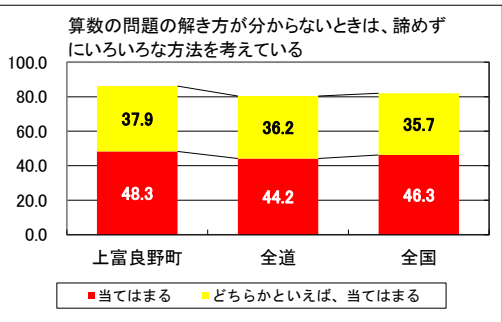
■上富良野町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:3校、児童数:87人)

【教科全体の状況】

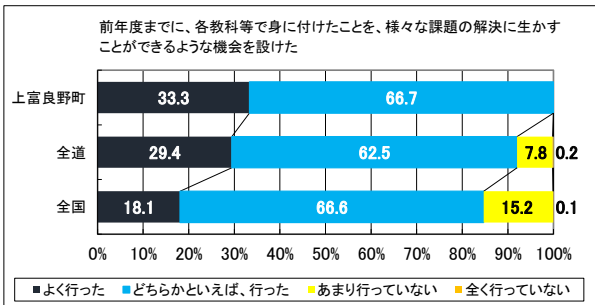
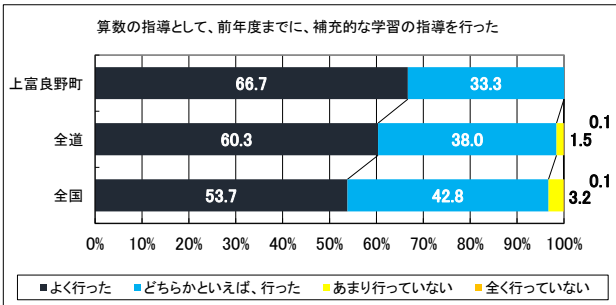
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 算数において、全国に最も近くなっている。 ○ 国語では、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、算数では、「図形」で全国に最も近くなっている。	○ 算数の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行ったことにより、児童が算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えるようになり、算数の「図形」で全国に最も近くなったと考えられる。 ○ 前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けたことにより、児童が授業で学んだことを、ほかの学習に生かすようになり、国語の「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、算数の「図形」で全国に最も近くなったと考えられる。
児童質問紙	○ 「算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えている」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「授業で学んだことを、ほかの学習に生かしている」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。	
学校質問紙	○ 「算数の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行った」と回答した学校の割合が全国及び全道を上回っている。 ○ 「前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けた」と回答した学校の割合が全国及び全道を上回っている。	

【上富良野町の学力向上策】

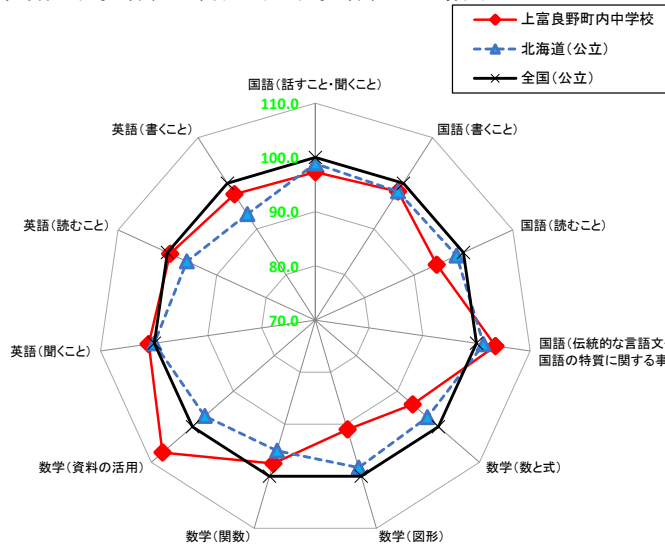
- ◎ 「確かな学力の育成プラン」に基づく小・中学校が連携した授業改善及び具体的方策の推進
- ◎ 先進校への視察や公開研究会の開催など教職員の授業における指導力の向上に向けた取組の推進
- ◎ 教育委員会で作成した「家庭学習のすすめ」に基づく学校と家庭が連携した学習習慣、生活習慣の定着に向けた取組の推進

■上富良野町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:82人)

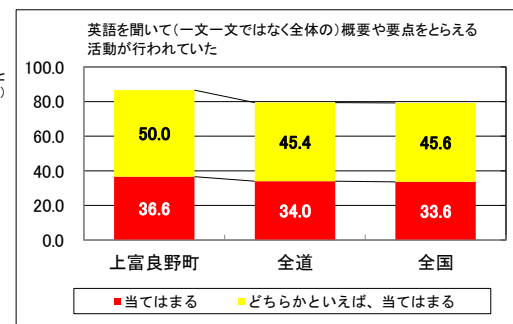
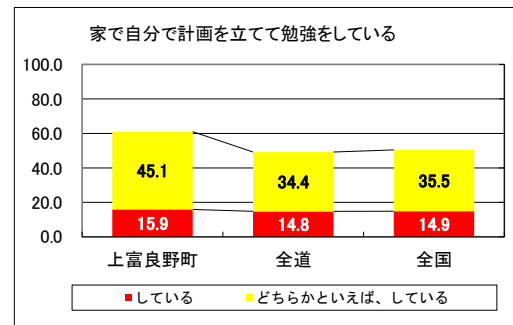
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

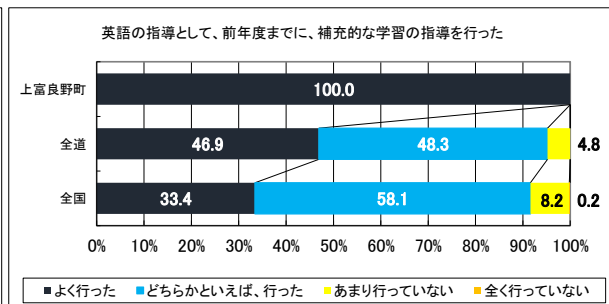
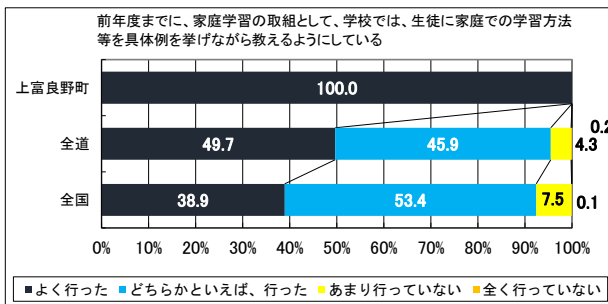
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 英語において、全国に最も近くなっている。 ○ 国語では、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、数学では、「資料の活用」、英語では、「聞くこと」で全国を上回っている。	○ 前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、生徒に家庭での学習方法を具体例を挙げながらよく教えたことにより、生徒が家で自分で計画を立てて勉強をするようになり、国語の「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」や数学の「資料の活用」、英語の「聞くこと」で全国を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「家で自分で計画を立てて勉強をしている」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「英語を聞いて(一文一文ではなく全体の)概要や要点をとらえる活動が行われていた」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。	○ 英語の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導をよく行ったことにより、生徒が英語を聞いて(一文一文ではなく全体の)概要や要点をとらえることができるようになり、英語の「聞くこと」で全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、生徒に家庭での学習方法を具体例を挙げながらよく教えた。 ○ 英語の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導をよく行った。	

【上富良野町の学力向上策】

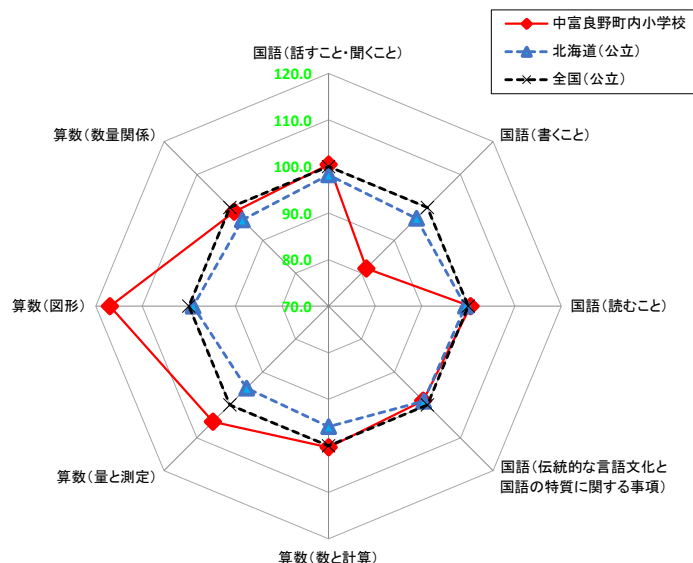
- ◎ 「確かな学力の育成プラン」に基づく小・中学校が連携した授業改善及び具体的方策の推進
- ◎ 職場体験や外部講師を活用した多様なキャリア教育の推進
- ◎ 教育委員会で作成した「家庭学習のすすめ」に基づく学校と家庭が連携した学習習慣、生活習慣の定着に向けた取組の推進

■中富良野町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:4校、児童数:39人)

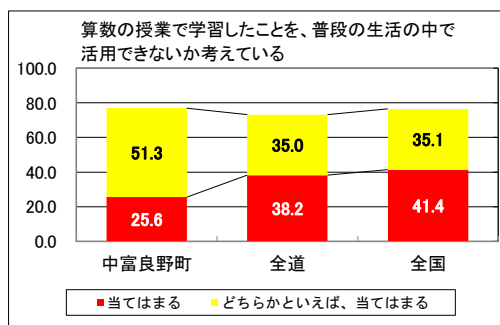
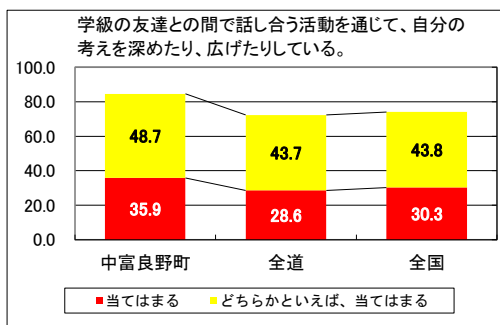
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

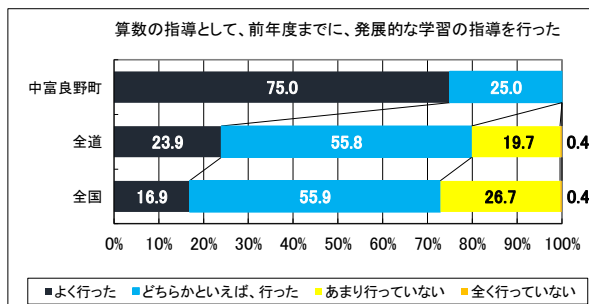
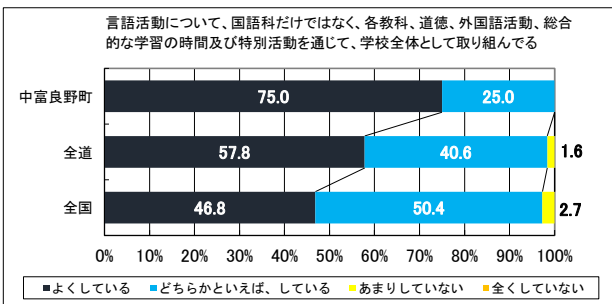
平均正答率	国語	算数
	62	69



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 算数において、全国を上回っている。 ○ 国語では、「話すこと・聞くこと」「読むこと」、算数では、「数と計算」「量と測定」「図形」で全国を上回っている。	○ 言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んだことにより、児童が学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができるようになり、国語の「話すこと・聞くこと」「読むこと」で全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	○ 「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりしている」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えている」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。	○ 算数の指導として、前年度までに、発展的な学習を行ったことにより、児童が算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えるようになり、算数の「数と計算」「量と測定」「図形」で全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 「言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいる」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「算数の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	

【中富良野町の学力向上策】

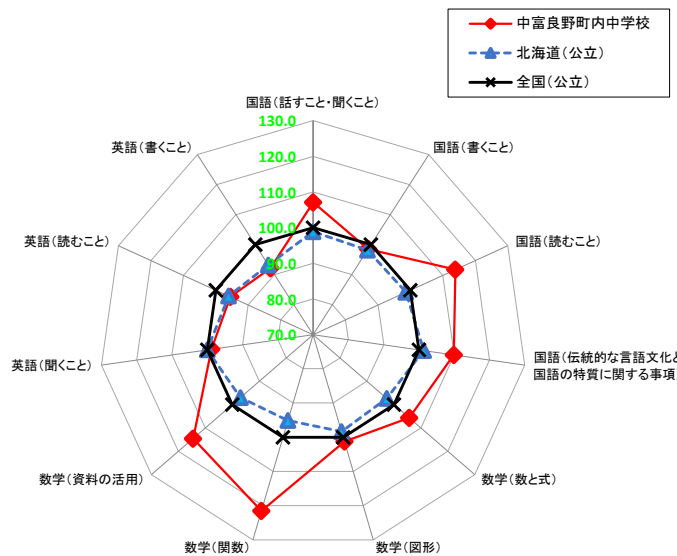
- ◎ 基礎・基本の確実な定着のための加配教員、学習支援員等の活用による校内組織体制の確立
- ◎ 家庭での学習習慣や適切な生活習慣の確立に向け、「家庭学習の手引」の配付や更にPTAと連携した取組の推進
- ◎ 言語活動の充実を図るための「朝読」「家読」の取組による読書活動の推進

■中富良野町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:43人)

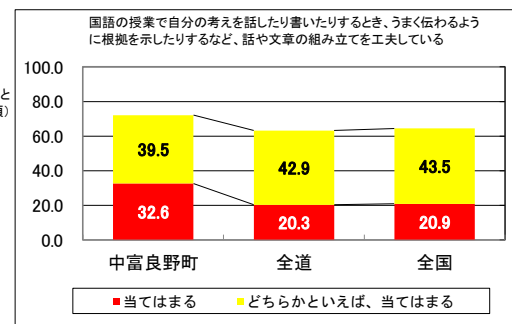
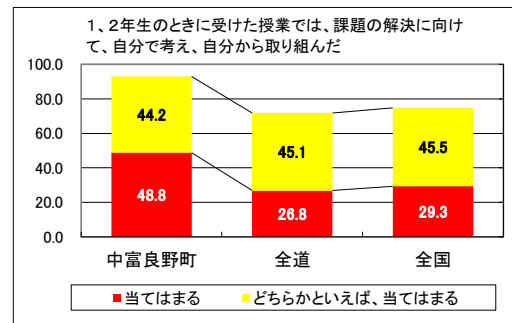
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

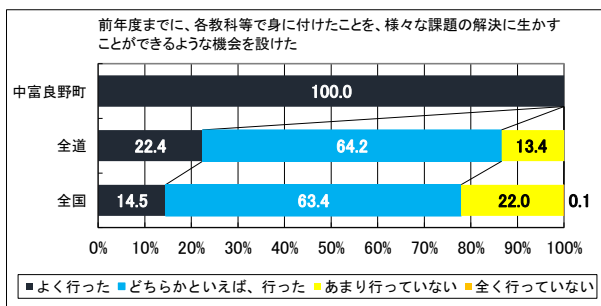
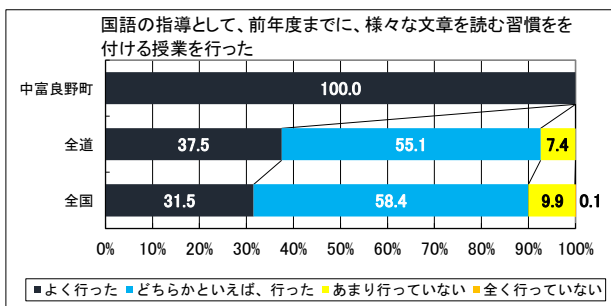
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語、数学において、全国を上回っている。 ○ 国語では、「話すこと・聞くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、数学では、全ての領域で全国を上回り、英語では、「読むこと」で全国に最も近くなっている。	○ 国語の指導として、前年度までに、様々な文章を読む習慣を付ける授業をよく行ったことにより、生徒が自分の考えを話したり書いたりするとき、うまく伝えるように根拠を示したりするなど、話や文章の組み立てを工夫するようになり、国語の「話すこと・聞くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「国語の授業で自分の考えを話したり書いたりするとき、うまく伝えるように根拠を示したりするなど、話や文章の組み立てを工夫している」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。	○ 前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けたことにより、生徒が課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むようになり、国語の「話すこと・聞くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、数学の全ての領域で全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 国語の指導として、前年度までに、様々な文章を読む習慣を付ける授業をよく行った。 ○ 前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会をよく設けた。	

【中富良野町の学力向上策】

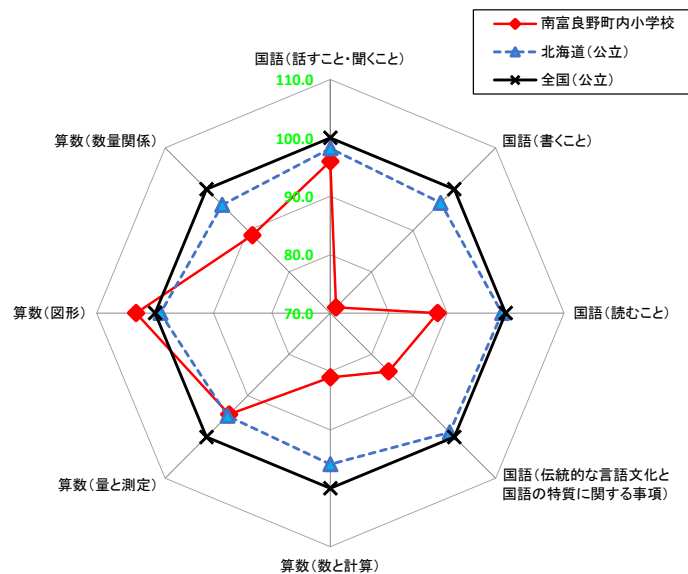
- ◎ 基礎・基本の確実な定着のための加配教員、学習支援員等の活用による校内組織体制の確立
- ◎ 家庭での学習習慣や適切な生活習慣の確立に向け、「家庭学習の手引」の配付や更にPTAと連携した取組の推進
- ◎ 言語活動の充実を図るための「朝読」「家読」の取組による読書活動の推進

■南富良野町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、児童数:12人)

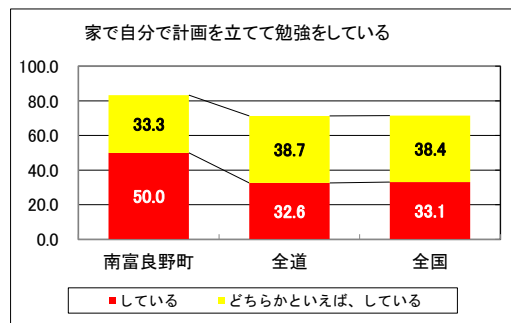
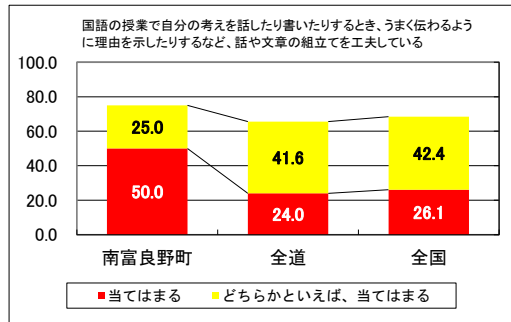
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものを

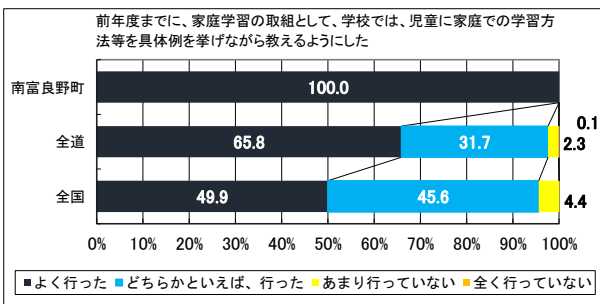
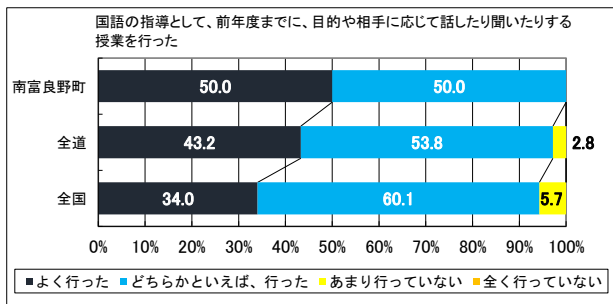
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語、算数ともに全国を下回っている。 ○ 算数において、全国に最も近くなっている。 ○ 国語では、「話すこと・聞くこと」で全国に最も近くなっているが、「書くこと」に課題がある。 ○ 算数では、「図形」で全国を上回っているが、「数と計算」に課題がある。	○ 国語の指導として、前年度までに、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行ったことにより、児童が、国語の授業で自分の考えを話したり書いたりするとき、うまく伝えるように理由を示したりするなど、話や文章の組立てを工夫するようになり、国語の「話すこと・聞くこと」で全国に最も近くなったと考えられる。 ○ 前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、児童に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えるようにしたことにより、児童が家で自分で計画を立てて勉強をするようになり、算数の「図形」で全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	○ 「国語の授業で自分の考えを話したり書いたりするとき、うまく伝えるように理由を示したりするなど、話や文章の組立てを工夫している」と回答した児童の割合が全国を上回っている。 ○ 「家で自分で計画を立てて勉強をしている」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。	
学校質問紙	○ 「国語の指導として、前年度までに、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 全ての学校が、「前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、児童に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えるようにした」と回答している。	

【南富良野町の学力向上策】

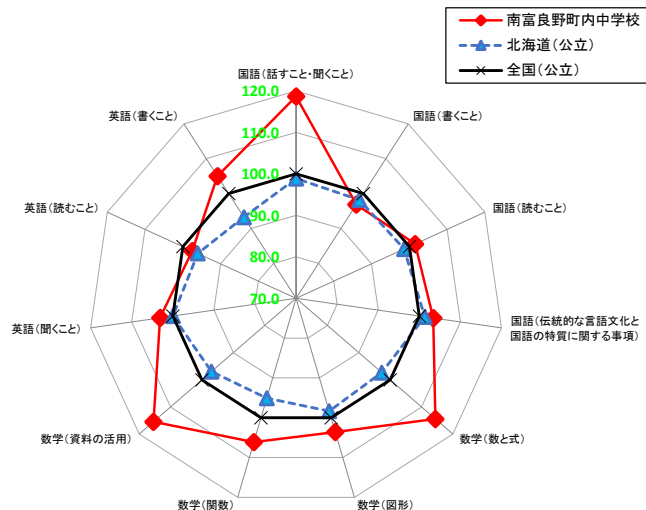
- ◎ 土曜授業等を生かした習熟の程度に応じた指導などによるきめ細かな指導の充実
- ◎ 長期休業中の朝活授業「南プ塾」の実施などによる基礎学力の定着を図る取組の推進
- ◎ タブレット等のICT機器の活用による実践研究の促進

■南富良野町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:20人)

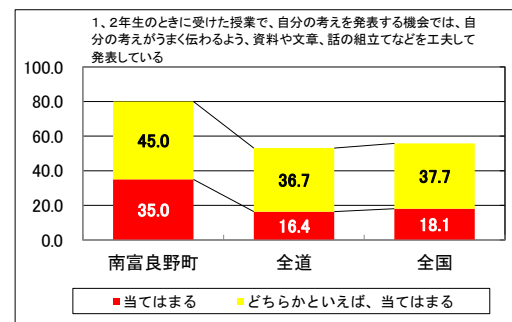
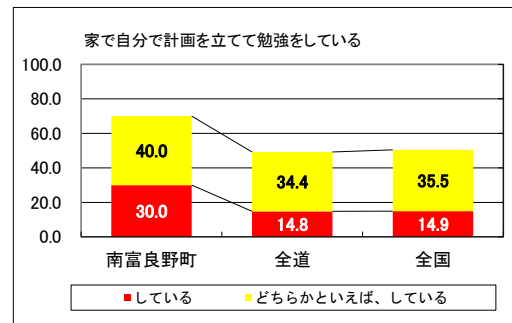
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

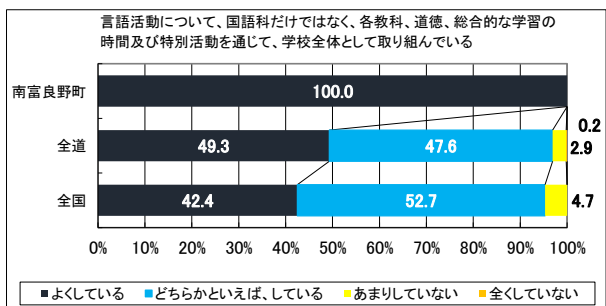
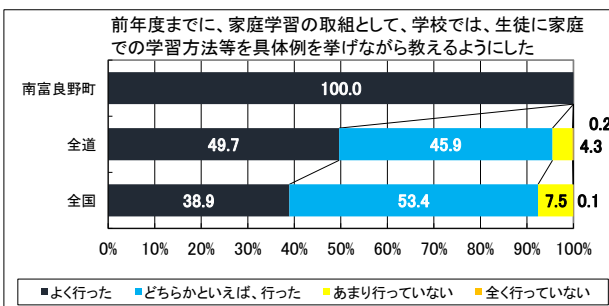
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 全ての教科において、全国を上回っている。 ○ 国語では、「話すこと・聞くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、数学では、全ての領域で、英語では、「聞くこと」「書くこと」で全国を上回っている。	○ 前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、生徒に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えたことにより、生徒が家で自分で計画を立てて勉強をするようになり、国語の「話すこと・聞くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「家で自分で計画を立てて勉強をしている」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表している」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。	○ 言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体としてよく取り組んだことにより、生徒が自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表するようになり、国語の「話すこと・聞くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、数学の全ての領域、英語の「聞くこと」「書くこと」で全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、生徒に家庭での学習方法等を具体例を挙げながらよく教えた。 ○ 言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体としてよく取り組んだ。	

【南富良野町の学力向上策】

- ◎ 生徒一人一人に対応するため、チーム・ティーチングを継続し、学習意欲の向上を図る取組の推進
- ◎ 放課後や長期休業中に補充学習を実施するなど基礎学力の定着を図る取組の推進
- ◎ 家庭学習に計画的に取り組む、家庭での生活・学習習慣の確立を図る取組の推進

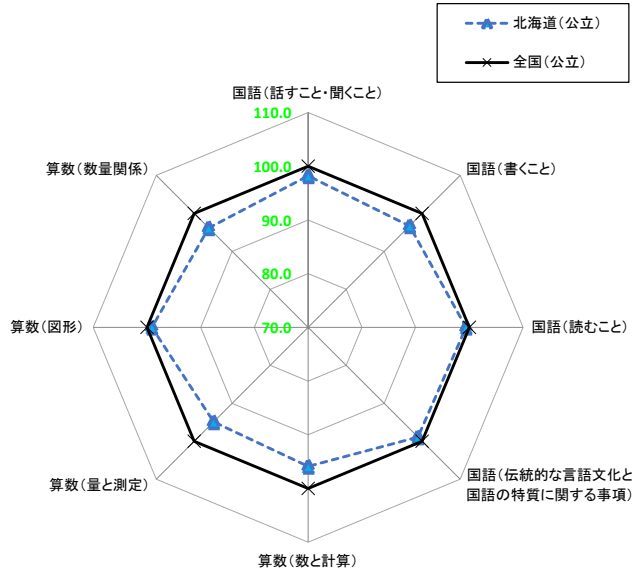
■ 占冠村内小学校の状況及び学力向上策（学校数：2校、児童数：6人）

※ 児童数が少なく、個人が特定される恐れがあるため、占冠村の教科及び児童質問紙のデータは掲載していない。

【教科全体の状況】

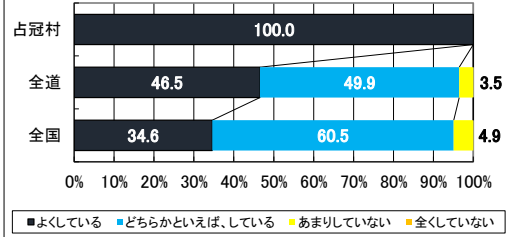
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

（市町村の平均正答率÷全国（公立）の平均正答率×100で算出）

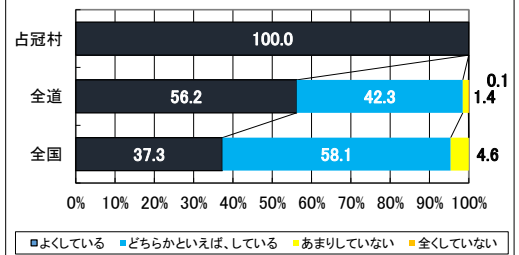


【学校質問紙調査】

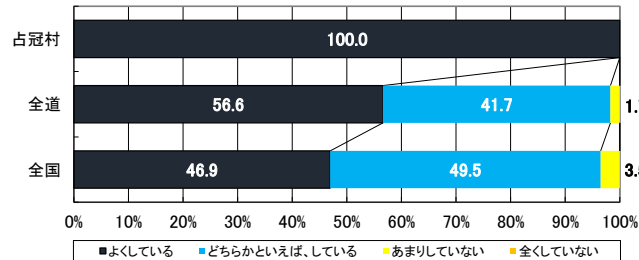
指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列している



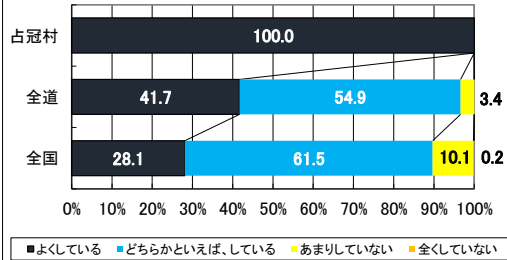
児童の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している



指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせている



教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っている



【分析】

教科	※ 児童数が少なく、個人が特定される恐れがあるため、占冠村の教科のデータは掲載していない。
児童質問紙	※ 児童数が少なく、個人が特定される恐れがあるため、占冠村の児童質問紙のデータは掲載していない。
学校質問紙	○ 全ての学校が、「指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列している」と回答している。 ○ 全ての学校が、「児童の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している」と回答している。 ○ 全ての学校が、「指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせている」と回答している。 ○ 全ての学校が、「教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っている」と回答している。

【占冠村の学力向上策】

- ◎ 義務教育9年間を見通した教育課程の編成など、小中連携教育の推進
- ◎ テレビ会議システムの活用による遠隔授業など、小規模校の特性を生かした教育環境の整備
- ◎ 外国の文化や言語を体験的に学ぶための外国語教育や国際理解教育の充実

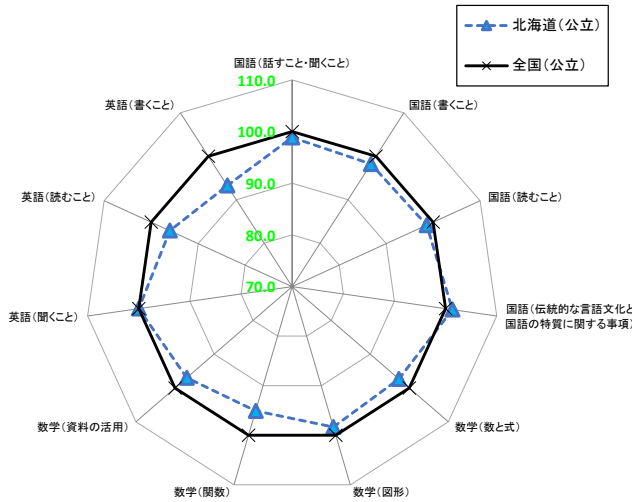
■ 占冠村内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:6人)

※ 生徒数が少なく、個人が特定される恐れがあるため、占冠村の教科及び生徒質問紙のデータは掲載していない。

【教科全体の状況】

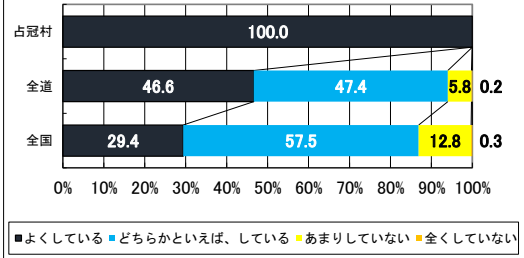
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

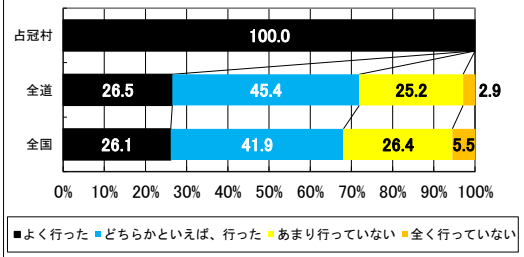


【学校質問紙調査】

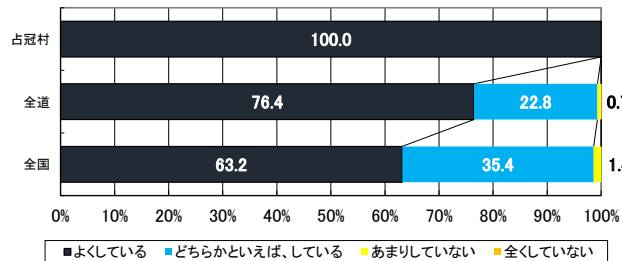
指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせている



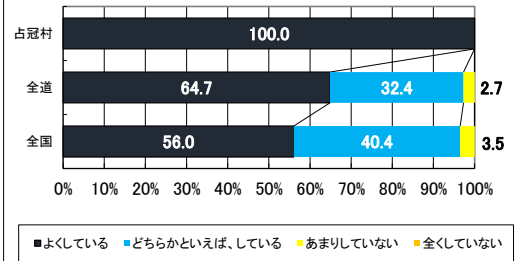
前年度までに、近隣等の小学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行った



校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修を行っている



授業研究や事例研究など、実践的な研修を行っている



【分析】

教科	※生徒数が少なく、個人が特定される恐れがあるため、占冠村の教科のデータは掲載していない。
生徒質問紙	※生徒数が少なく、個人が特定される恐れがあるため、占冠村の生徒質問紙のデータは掲載していない。
学校質問紙	○ 指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせている。 ○ 前年度までに、近隣等の小学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組をよく行っている。 ○ 校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修をよく行っている。 ○ 授業研究や事例研究など、実践的な研修をよく行っている。

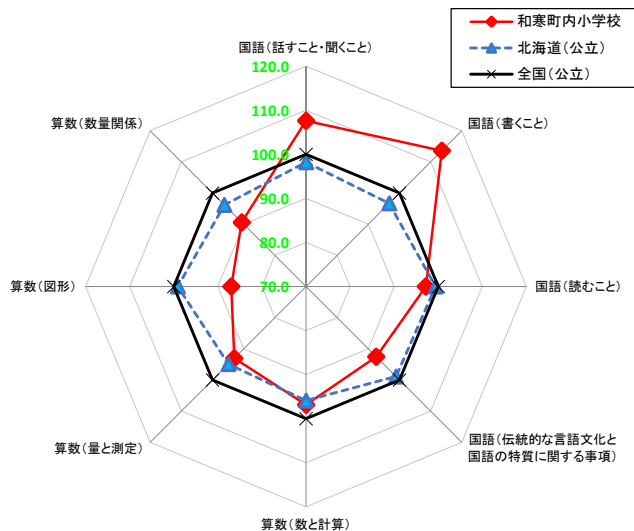
【占冠村の学力向上策】

- ◎ 義務教育9年間を見通した教育課程の編成など、小中連携教育の推進
- ◎ テレビ会議システムの活用による遠隔授業など、小規模校の特性を生かした教育環境の整備
- ◎ 外国の文化や言語を体験的に学ぶための外国語教育や国際理解教育の充実

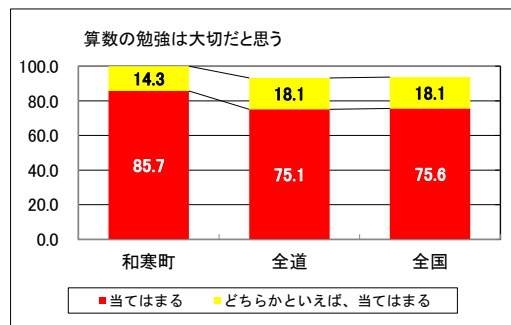
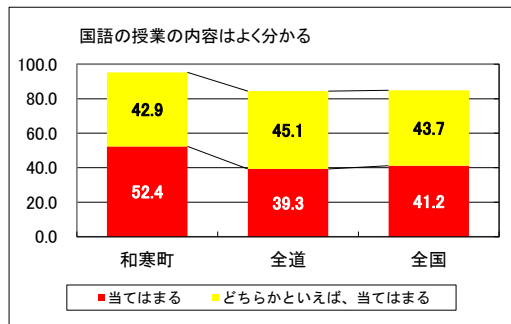
■和寒町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、児童数:21人)

【教科全体の状況】

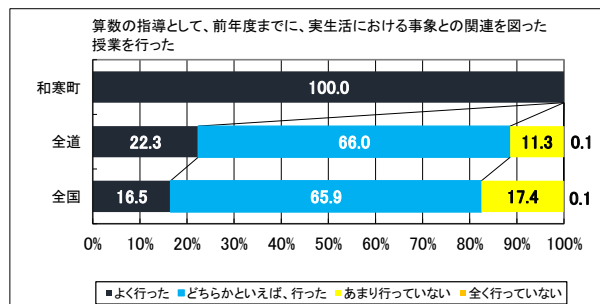
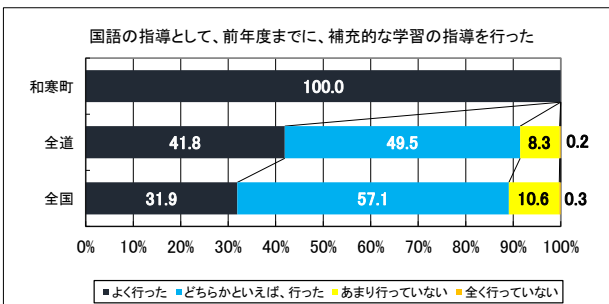
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語において、全国を上回っている。 ○ 国語では、「話すこと・聞くこと」「書くこと」で全国を上回り、算数では、「数と計算」で全国に最も近くなっている。	○ 国語の指導として、前年度までに、補的な学習の指導をよく行ったことにより、児童が国語の授業の内容がよく分かるようになり、国語の「話すこと・聞くこと」「書くこと」で全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	○ 「国語の授業の内容はよく分かる」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「算数の勉強は大切だと思う」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。	○ 算数の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業をよく行ったことにより、児童が算数の勉強は大切だと思うようになり、算数の「数と計算」で全国に最も近くなったと考えられる。
学校質問紙	○ 国語の指導として、前年度までに、補的な学習の指導をよく行った。 ○ 算数の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業をよく行った。	

【和寒町の学力向上策】

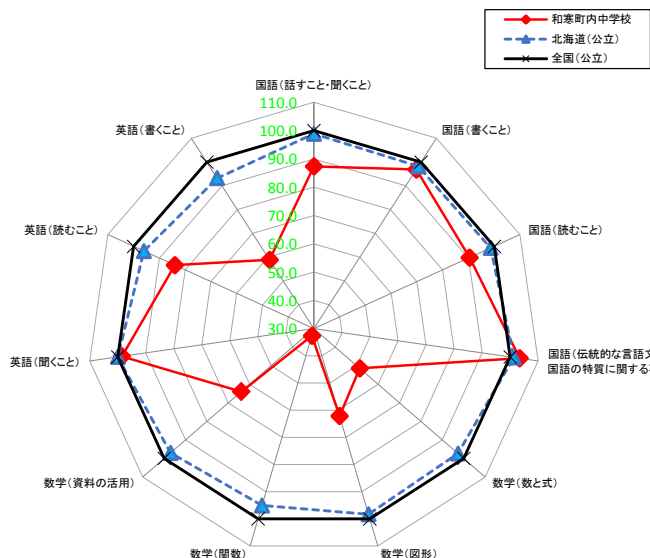
- ◎ 自立した生き方を支える基本的な資質・能力の確実な定着(町教委主催の「ステップアップ教室」の実施)
- ◎ 確かな学力を育成するための指導力向上を目指した取組の充実(先進地視察や外部講師等による講演会の実施)
- ◎ 一人一人のよさや可能性を伸ばすための評価の工夫

■和寒町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:25人)

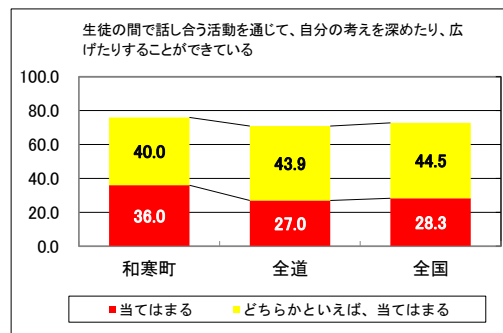
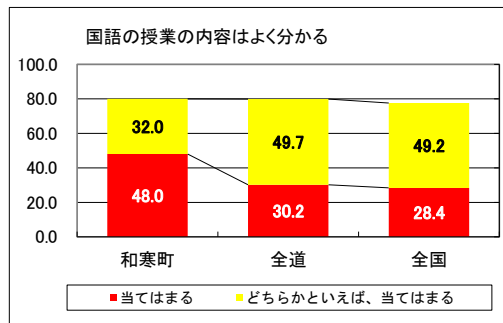
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

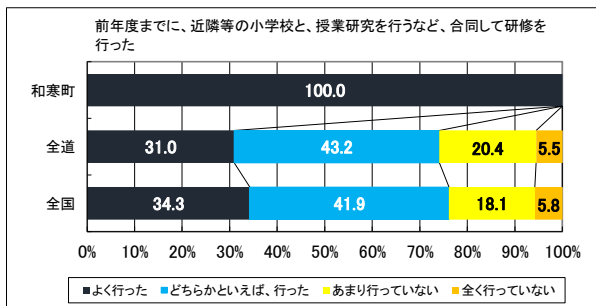
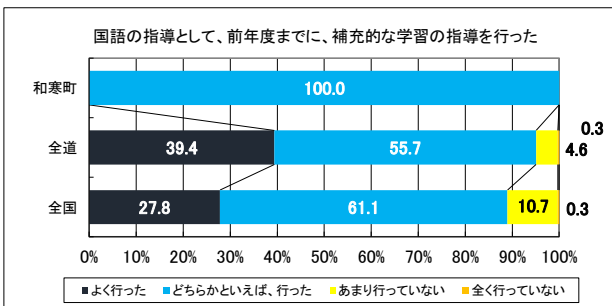
平均正答率	国語	数学	英語
	68	33	46



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語において、全国に最も近くなっている。 ○ 国語では、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回り、数学では、「資料の活用」、英語では、「聞くこと」で全国に最も近くなっている。	○ 国語の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行ったことにより、生徒が国語の授業の内容がよく分かるようになり、国語の「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「国語の授業の内容はよく分かる」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。	○ 前年度までに、近隣等の小学校と、授業研究を行うなど、合同して研修をよく行い、授業改善を進めたことにより、生徒が話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができるようになり、国語の「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回り、数学の「資料の活用」、英語の「聞くこと」で全国に最も近くなったと考えられる。
学校質問紙	○ 国語の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行った。 ○ 前年度までに、近隣等の小学校と、授業研究を行うなど、合同して研修をよく行った。	

【和寒町の学力向上策】

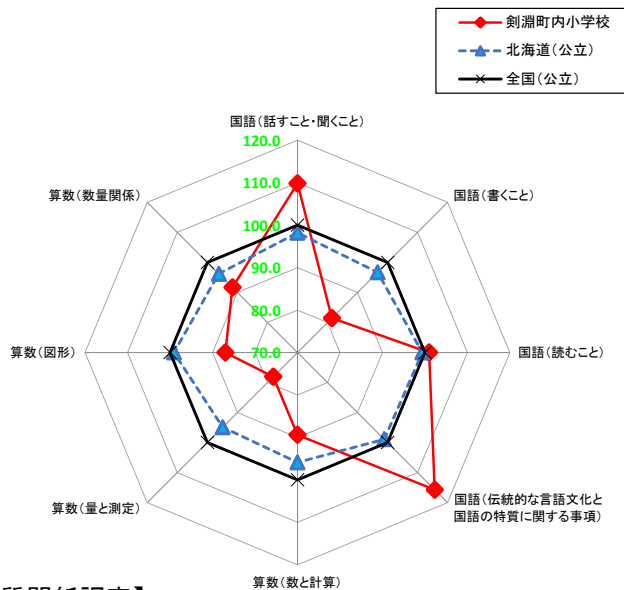
- ◎ 確かな学力を育成するための指導力向上を目指した取組の充実(先進地視察や外部講師等による講演会の実施)
- ◎ 一人一人のよさや可能性を伸ばすための評価の工夫
- ◎ グローバル化への対応に向けたALTの専任化による外国語教育の充実

■ 剣淵町内小学校の状況及び学力向上策 (学校数: 1校、児童数: 21人)

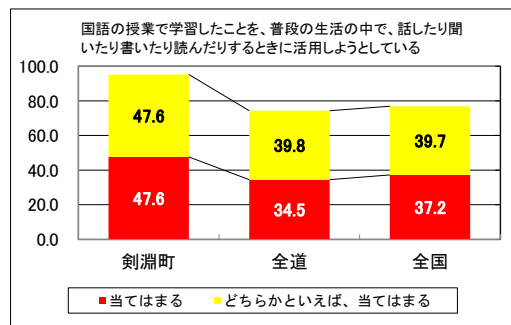
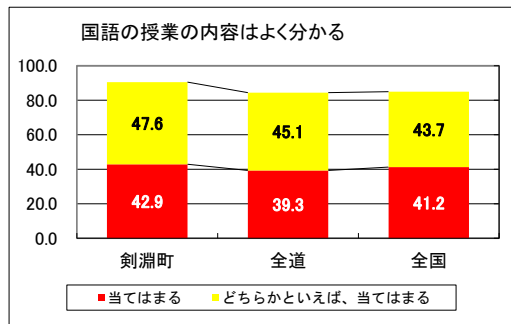
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

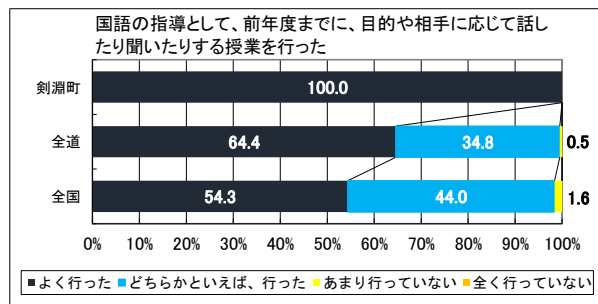
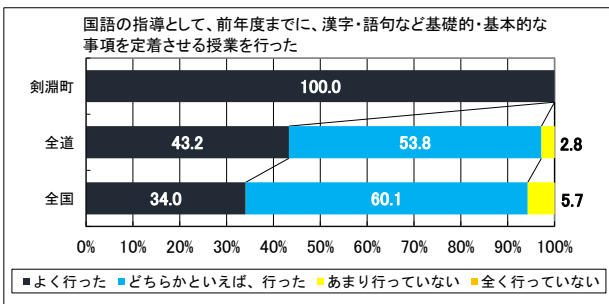
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語において、全国を上回っている。 ○ 国語では、「話すこと・聞くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回り、算数では、「数量関係」で全国に最も近くなっている。	○ 国語の授業で、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業をよく行ったことにより、児童が国語の授業で学習したことを、普段の生活の中で、話したり聞いたり書いたり読んだりするときに活用するようになり、国語の「話すこと・聞くこと」で全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	○ 「国語の授業内容はよく分かる」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「国語の授業で学習したことを、普段の生活の中で、話したり聞いたり書いたり読んだりするときに活用しようとしている」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。	○ 国語の指導として、前年度までに、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業をよく行ったことにより、生徒が、国語の授業の内容がよく分かるようになり、国語の「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 国語の指導として、前年度までに、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業をよく行った。 ○ 国語の指導として、前年度までに、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業をよく行った。	

【剣淵町の学力向上策】

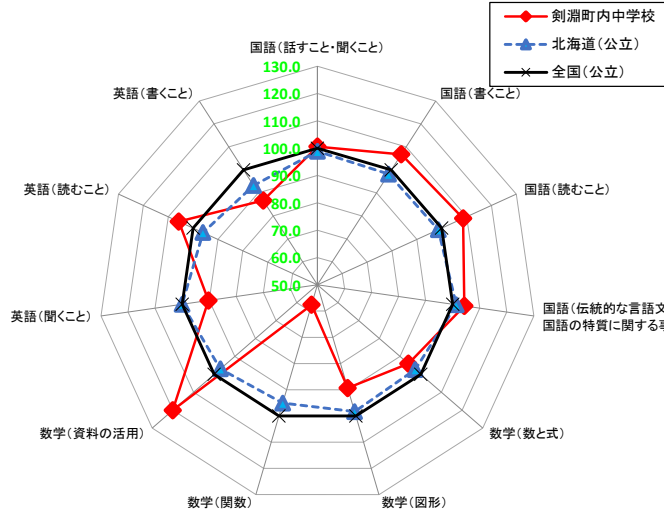
- ◎ 学習規律の定着及び学習指導の改善
- ◎ 指導工夫改善計画に基づく個別・習熟度別学習指導の充実
- ◎ 児童生徒のよさや可能性を伸ばすための評価の工夫

■ 剣淵町内中学校の状況及び学力向上策 (学校数: 1校、生徒数: 17人)

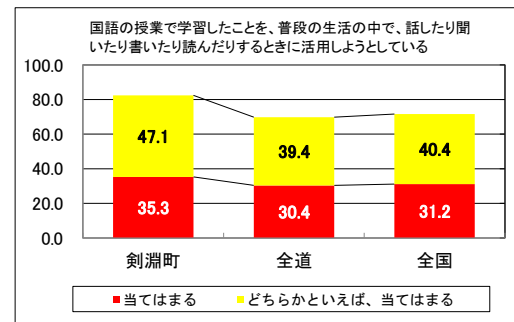
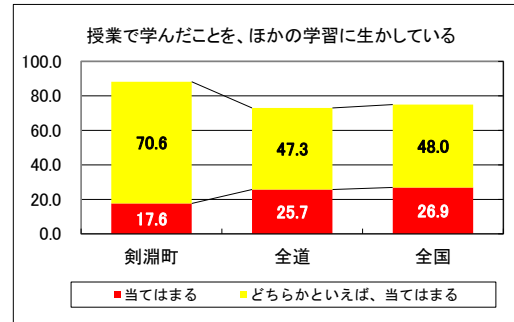
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

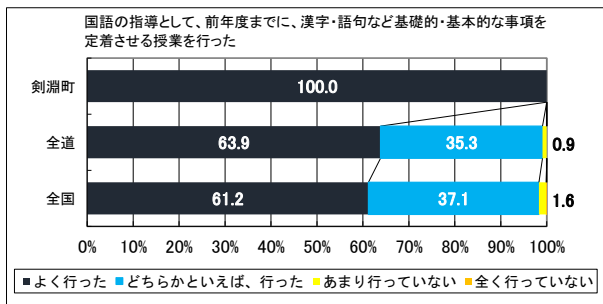
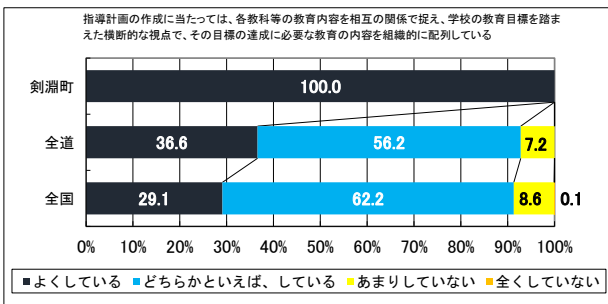
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語において、全国を上回っている。 ○ 国語では、全ての領域、数学では、「資料の活用」、英語では、「読むこと」で全国を上回っている。	○ 国語の指導として、前年度までに、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行ったことにより、生徒が国語の授業で学習したことを、普段の生活の中で、話したり聞いたり書いたり読んだりするときに活用するようになり、国語の全ての領域で全国を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「授業で学んだことを、ほかの学習に生かしている」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「国語の授業で学習したことを、普段の生活の中で、話したり聞いたり書いたり読んだりするときに活用している」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。	○ 指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列している。
学校質問紙	○ 指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列している。 ○ 国語の指導として、前年度までに、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業をよく行った。	○ 指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列したことにより、生徒が授業で学んだことをほかの学習に生かすようになり、国語の全領域、数学の「資料の活用」、英語の「読むこと」で全国を上回ったと考えられる。

【剣淵町の学力向上策】

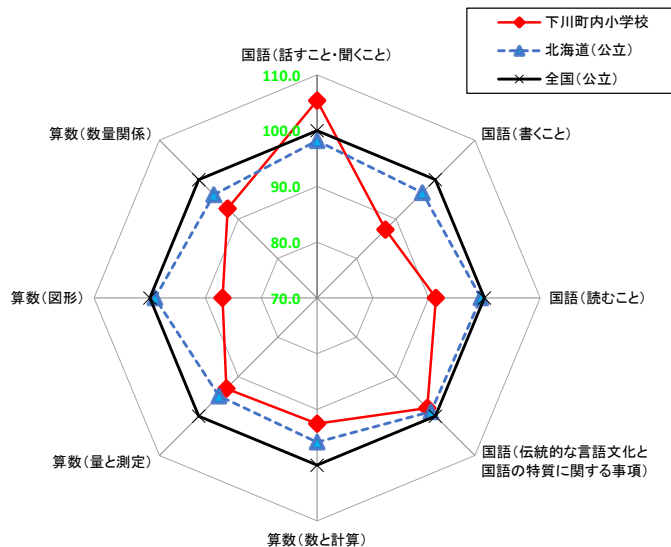
- ◎ 学習規律の定着及び学習指導の改善
- ◎ 指導工夫改善計画に基づく個別・習熟度別学習指導の充実
- ◎ 児童生徒のよさや可能性を伸ばすための評価の工夫

■下川町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、児童数:21人)

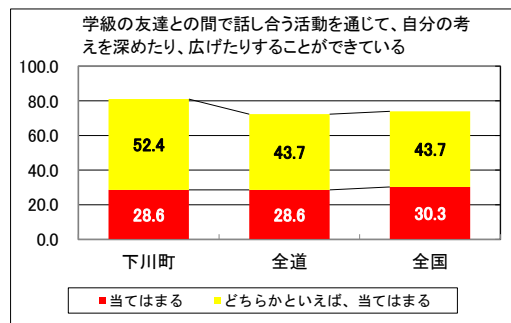
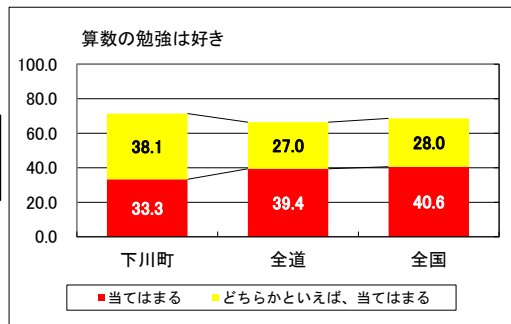
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

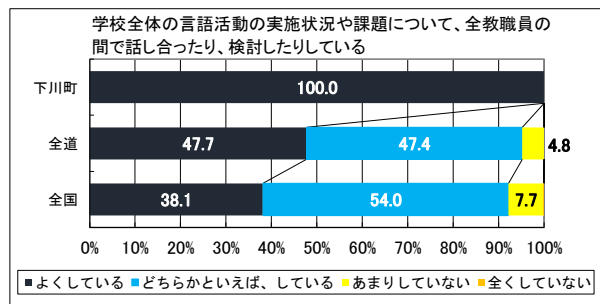
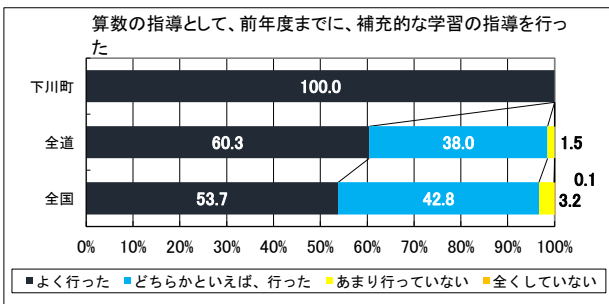
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語において、全国に最も近くなっている。 ○ 国語では、「話すこと・聞くこと」で全国を上回り、算数では、「量と測定」で全国に最も近くなっている。	○ 学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間でよく話し合ったり、よく検討したりしたことにより、児童が学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができるようになり、国語の「話すこと・聞くこと」で全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	○ 「算数の勉強は好き」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。	○ 算数の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導をよく行ったことにより、児童が算数の勉強を好きになり、算数の「量と測定」で全国に最も近くなったと考えられる。
学校質問紙	○ 算数の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導をよく行った。 ○ 学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間でよく話し合ったり、よく検討したりしている。	

【下川町の学力向上策】

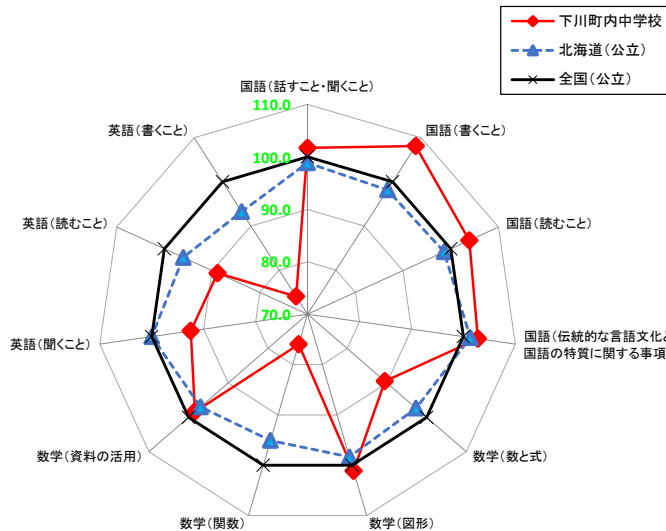
- ◎ 創意ある教育課程の編成や指導方法の工夫改善
- ◎ ICT教育の推進による効果的な学習環境の整備
- ◎ ウィークエンドスクールにおける家庭学習の充実

■下川町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:28人)

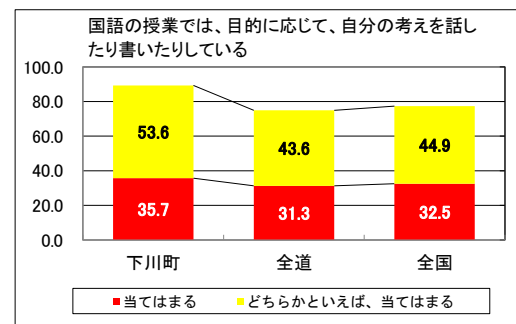
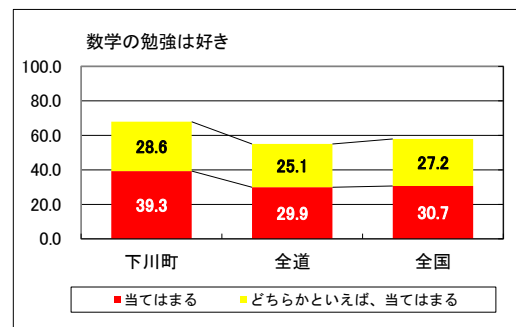
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

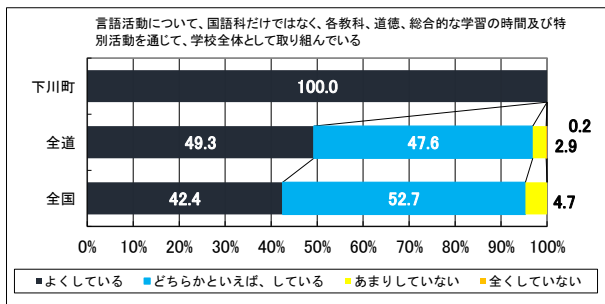
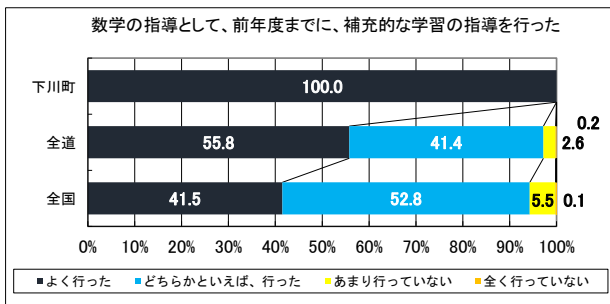
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語において、全国を上回っている。 ○ 国語では、全ての領域、数学では、「図形」で全国を上回り、英語では、「聞くこと」で全国に最も近くなっている。	○ 数学の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導をよく行ったことにより、生徒が数学の勉強を好きになり、数学の「図形」で全国を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「数学の勉強は好き」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりしている」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。	○ 言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体としてよく取り組んだことにより、生徒が国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりするようになり、国語の全ての領域で全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 数学の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導をよく行った。 ○ 言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体としてよく取り組んでいる。	

【下川町の学力向上策】

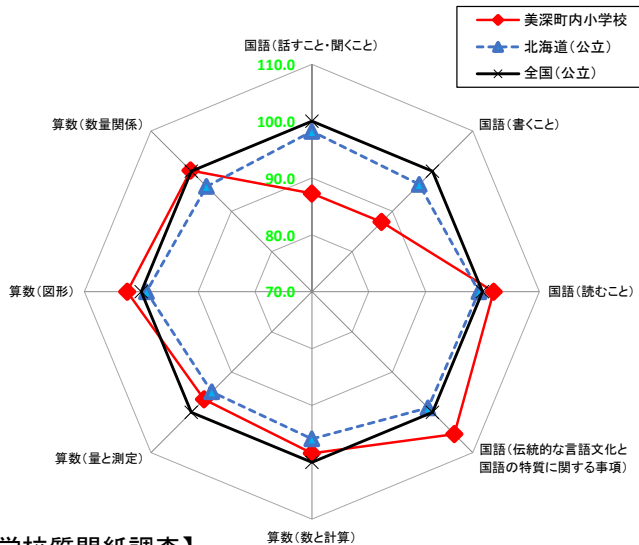
◎ 創意ある教育課程の編成や指導方法の工夫改善 ◎ ICT教育の推進による効果的な学習環境の整備 ◎ ウィークエンドスクールにおける家庭学習の充実

■美深町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、児童数:28人)

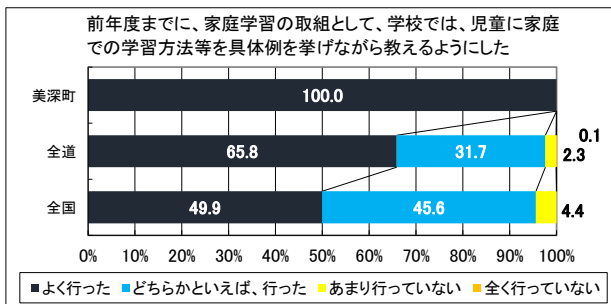
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

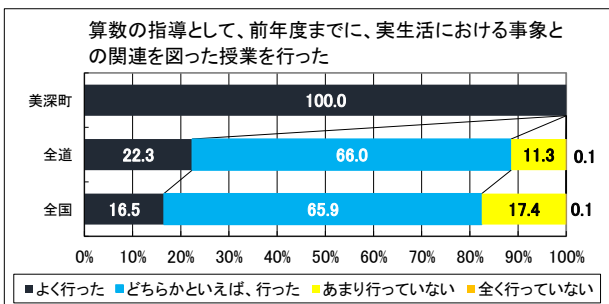
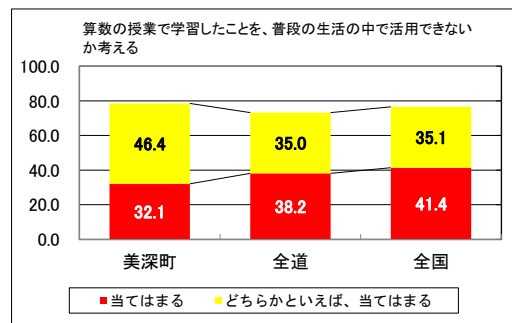
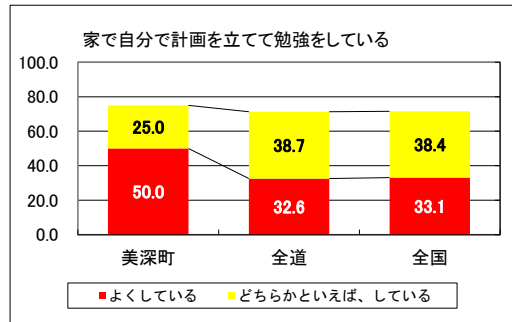
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【学校質問紙調査】



【児童質問紙調査】



【分析】

教科	○ 算数において、全道を上回っている。 ○ 国語では、「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、算数では、「図形」「数量関係」において、全国を上回っている。	○ 前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、児童に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えたことにより、児童が、家で自分で計画を立てて勉強をするようになり、国語の「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、算数の「図形」「数量関係」で全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	○ 「家で自分で計画を立てて勉強をしている」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考える」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。	○ 算数の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行ったことにより、児童が、算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えるようになり、算数の「図形」「数量関係」で全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 全ての学校が「前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、児童に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えた」と回答している。 ○ 全ての学校が「算数の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行った」と回答している。	

【美深町の学力向上策】

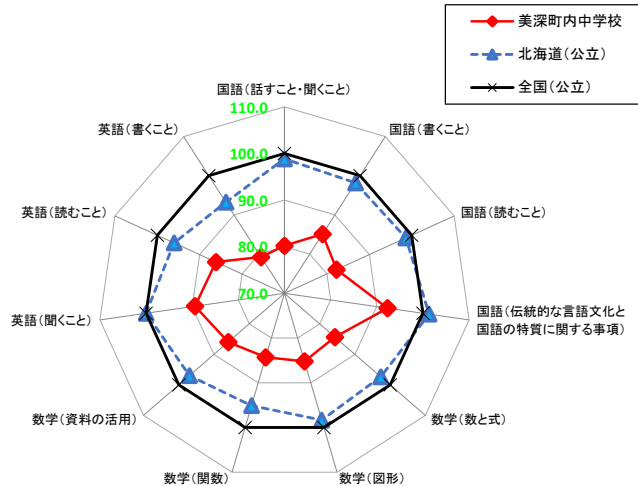
- ◎ 子どもたちが、主体的に学び自立するための力を養い、確かな学力と体力の向上が図られるよう、教育活動の充実
- ◎ 家庭学習習慣定着の取組、長期休業期間中の学習サポート、放課後における学習機会の確保、更には習熟度別指導やチーム・ティーチングなどによるきめ細かな指導の充実
- ◎ 子どもたちが、英語に日常的に親しめるよう、ALT等の人材活用による、外国語教育の推進

■美深町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、生徒数:32人)

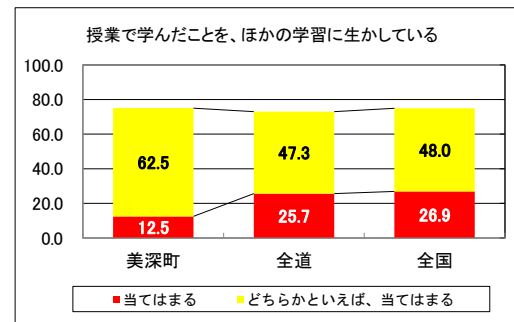
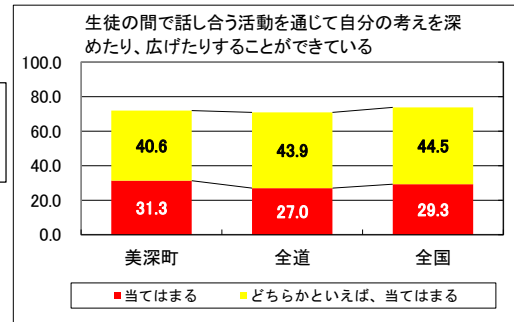
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

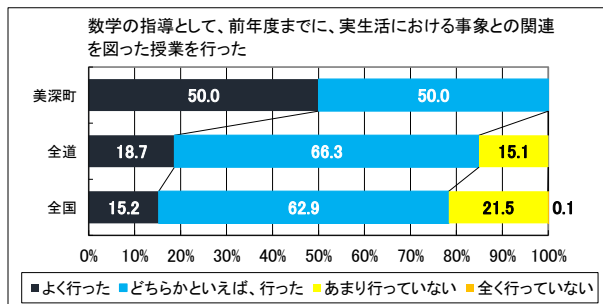
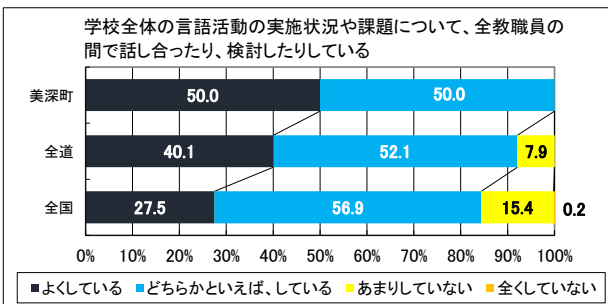
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	- 英語において、全国に最も近くなっている。 - 国語では、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、数学では、「関数」、英語では、「聞くこと」で全国に最も近くなっている。	学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間に話し合ったり、検討したりしたことにより、生徒が、生徒の間に話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり、広げたりするようになり、国語の「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、数学の「関数」、英語の「聞くこと」で全国に最も近くなったと考えられる。
生徒質問紙	「生徒の間に話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 「授業で学んだことを、ほかの学習に生かしている」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。	数学の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行ったことにより、生徒が、授業で学んだことを、ほかの学習に生かすようになり、数学の「関数」で全国に最も近くなったと考えられる。
学校質問紙	「学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間に話し合ったり、検討したりしている」と回答した学校の割合が、全国を上回っている。 「数学の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行った」と回答した学校の割合が、全国を上回っている。	

【美深町の学力向上策】

- ◎ 子どもたちが、主体的に学び自立するための力を養い、確かな学力と体力の向上が図られるよう、教育活動の充実
- ◎ 家庭学習習慣定着の取組、長期休業期間中の学習サポート、放課後における学習機会の確保などによるきめ細かな指導の充実
- ◎ リーディングスキルテストを活用し、読解力の改善を図ることによる総合的な学力向上の推進
- ◎ 子どもたちが、英語で積極的にコミュニケーションが図れるよう、ALT等の人材活用による外国語教育の推進

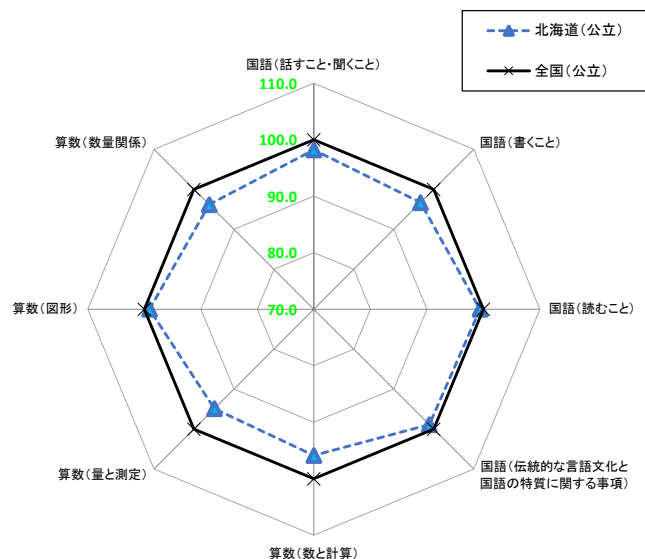
■音威子府村内小学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、児童数:1人)

※ 児童数が少なく、個人が特定される恐れがあるため、音威子府村の教科及び児童質問紙のデータは掲載していない。

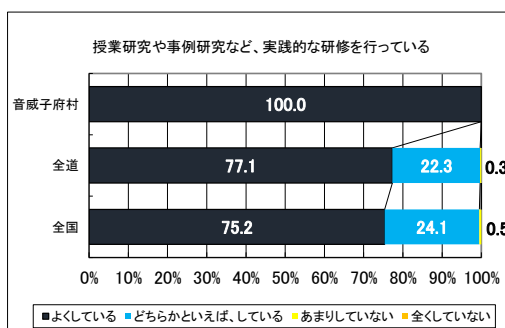
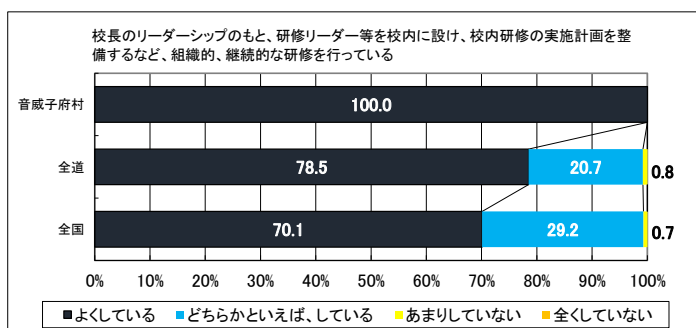
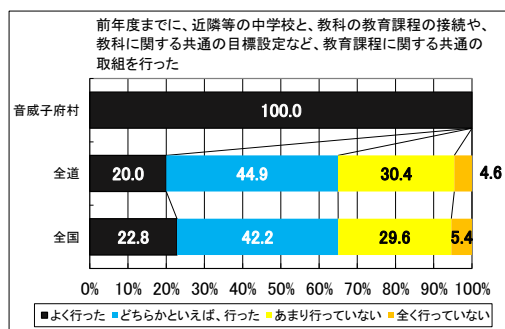
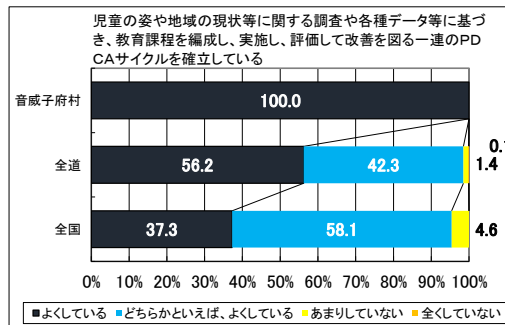
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	※ 児童数が少なく、個人が特定される恐れがあるため、音威子府村の教科のデータは掲載していない。
児童質問紙	※ 児童数が少なく、個人が特定される恐れがあるため、音威子府村の児童質問紙のデータは掲載していない。
学校質問紙	○ 児童の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している。 ○ 前年度までに、近隣等の中学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組をよく行った。 ○ 校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修をよく行っている。 ○ 授業研究や事例研究など、実践的な研修をよく行っている。

【音威子府村の学力向上策】

- ◎ 学校・家庭・地域が連携した学力向上に向けた取組の推進
- ◎ 小規模校の特性を生かしたきめ細かな指導の充実
- ◎ ICT機器を活用した児童一人一人に合わせた教育の推進

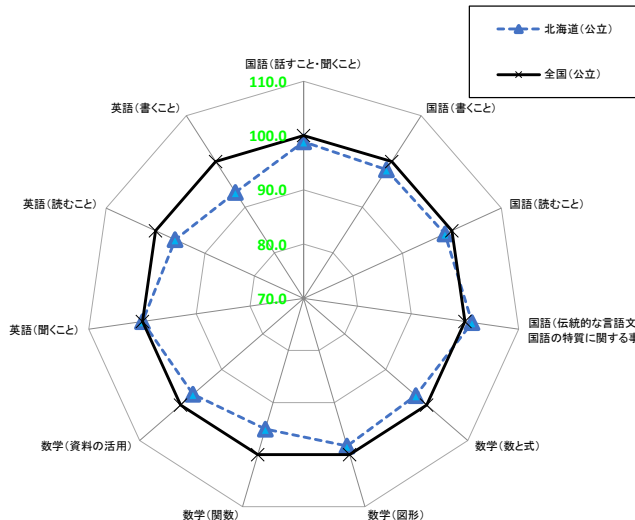
■音威子府村内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:3人)

※ 生徒数が少なく、個人が特定される恐れがあるため、音威子府村の教科及び生徒質問紙のデータは掲載していない。

【教科全体の状況】

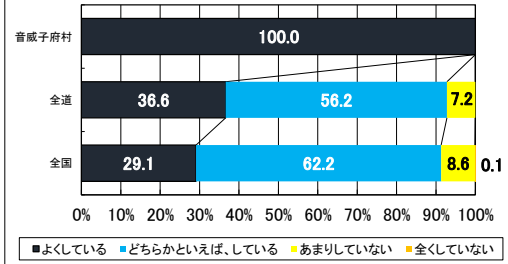
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

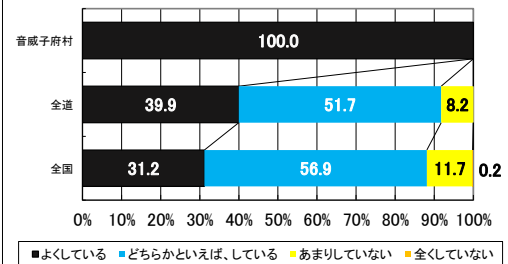


【学校質問紙調査】

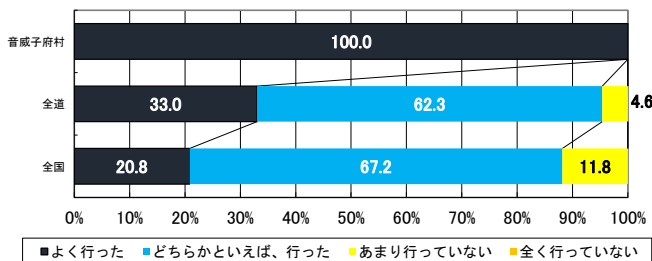
指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列している



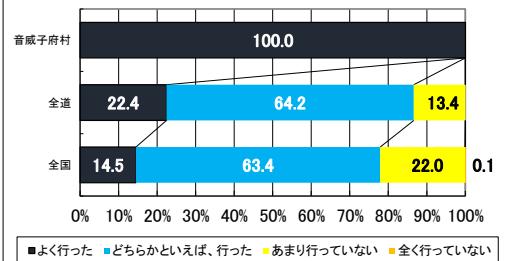
教育課程表(全体計画や年間指導計画等)について、各教科等の教育目標や内容の相互関連が分かるように作成している



前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をした



前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けた



【分析】

教科	※ 生徒数が少なく、個人が特定される恐れがあるため、音威子府村の教科のデータは掲載していない。
生徒質問紙	※ 生徒数が少なく、個人が特定される恐れがあるため、音威子府村の生徒質問紙のデータは掲載していない。
学校質問紙	○ 指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列している。 ○ 教育課程表(全体計画や年間指導計画等)について、各教科等の教育目標や内容の相互関連が分かるように作成している。 ○ 習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしている。 ○ 各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けている。

【音威子府村の学力向上策】

- ◎ 学校・家庭・地域が連携した学力向上に向けた取組の推進
- ◎ ICT教育による生徒一人一人に合わせた学習の充実
- ◎ 英語指導助手の配置による外国語教育の充実

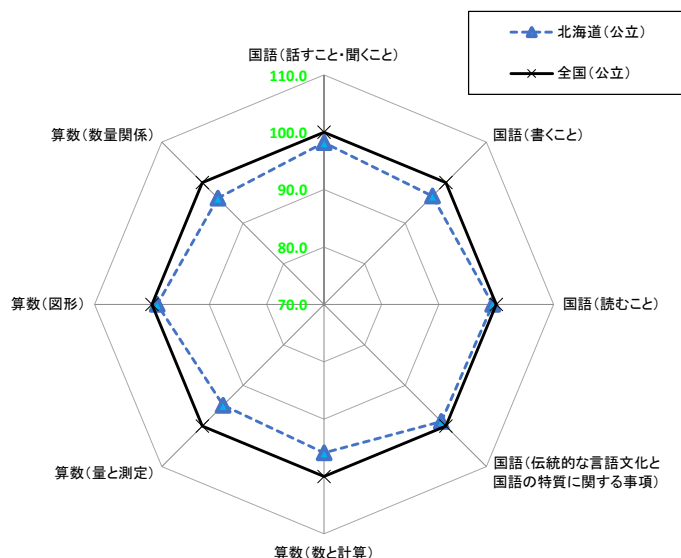
■中川町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、児童数:8人)

※ 児童数が少なく、個人が特定される恐れがあるため、中川町の教科及び児童質問紙のデータは掲載していない。

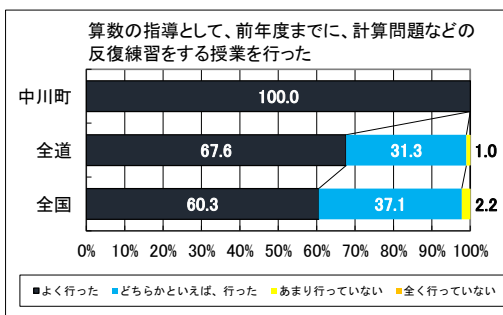
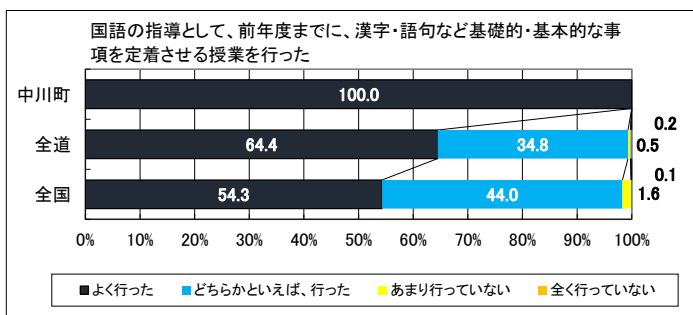
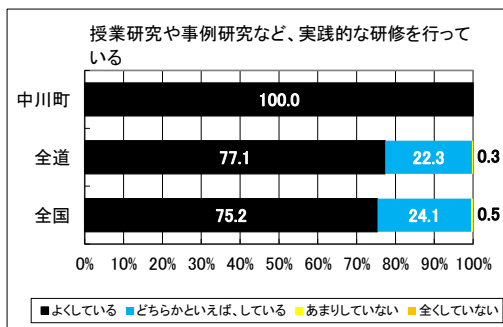
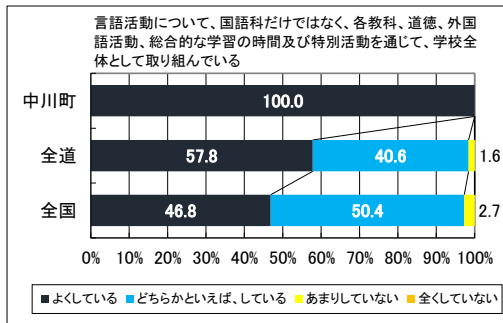
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	※ 児童数が少なく、個人が特定される恐れがあるため、中川町の教科のデータは掲載していない。
児童質問紙	※ 児童数が少なく、個人が特定される恐れがあるため、中川町の児童質問紙のデータは掲載していない。
学校質問紙	○ 言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体としてよく取り組んでいる。 ○ 授業研究や事例研究など、実践的な研修を行っている。 ○ 国語の指導として、前年度までに、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業をよく行った。 ○ 算数の指導として、前年度までに、計算問題などの反復練習をする授業をよく行った。

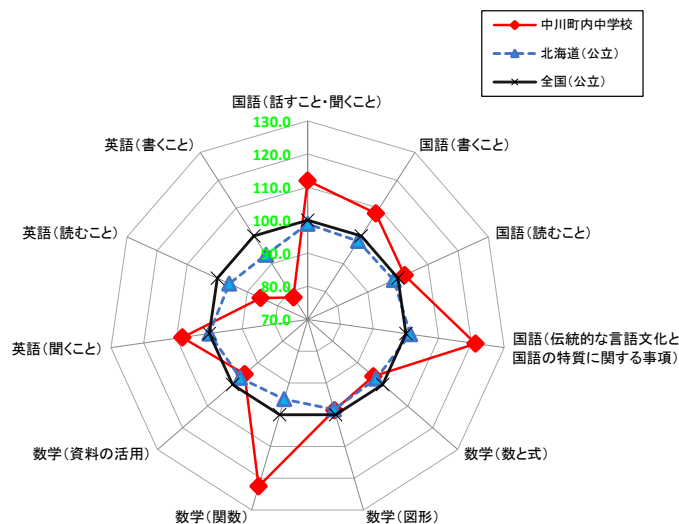
【中川町の学力向上策】

- ◎ 支援員等を活用した習熟度別指導やチーム・ティーチングなどによる児童に応じたきめ細かな指導の充実
- ◎ 学習内容の確実な定着を図るため、朝・放課後サポート学習での補習や追試の実施
- ◎ 基礎学力向上のためのチャレンジテストの活用と分析及び宿題等を通した繰り返し指導の実施

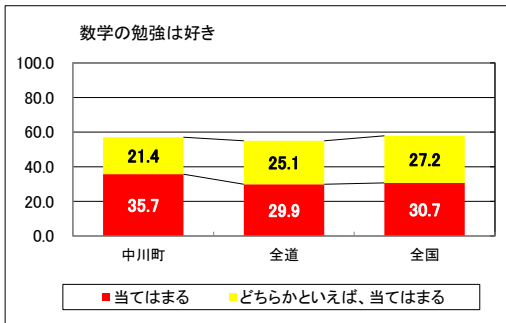
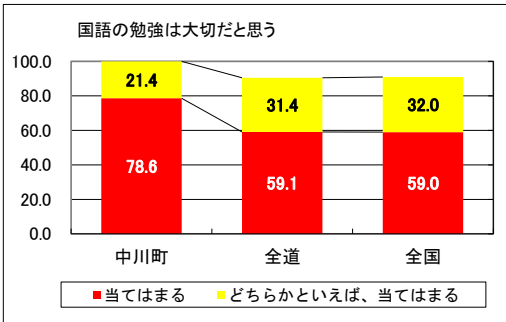
■中川町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:14人)

【教科全体の状況】

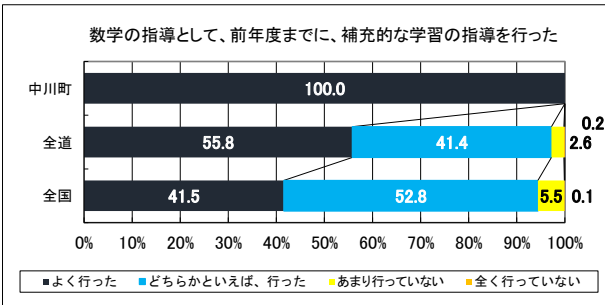
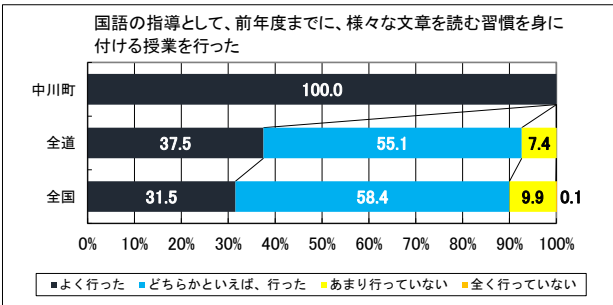
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
 (市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語、数学において、全国を上回っている。 ○ 国語では、全ての領域で、数学では、「関数」で、英語では、「聞くこと」で全国を上回っている。	○ 国語の指導として、前年度までに、様々な文章を読む習慣を身に付ける授業をよく行ったことにより、生徒が国語の勉強が大切だと思うようになり、国語の全ての領域で全国を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「国語の勉強は大切だと思う」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「数学の勉強は好き」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。	○ 数学の指導として、前年度までに、補的な学習の指導をよく行ったことにより、生徒が数学の勉強が好きになり、数学の「関数」で全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 国語の指導として、前年度までに、様々な文章を読む習慣を身に付ける授業をよく行った。 ○ 数学の指導として、前年度までに、補的な学習の指導をよく行った。	

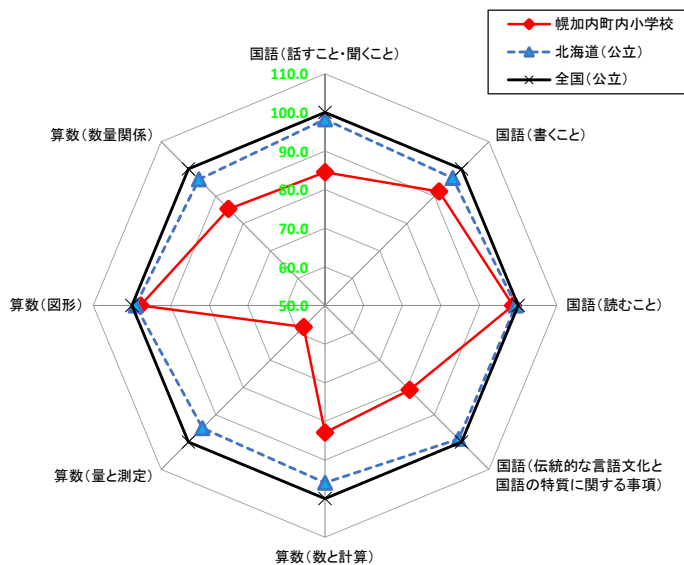
【中川町の学力向上策】

- ◎ ボランティアを活用した放課後学習支援「なかがわ塾」による基礎的・基本的な学習内容の定着に向けた取組の充実
- ◎ 各種学力調査結果分析に基づく生徒の個別の課題を踏まえた指導方法の工夫・改善の推進と個別指導や補習の実施
- ◎ 家庭学習充実のため個別相談を実施するなど、家庭と連携を図った学習習慣の定着に向けた取組の充実

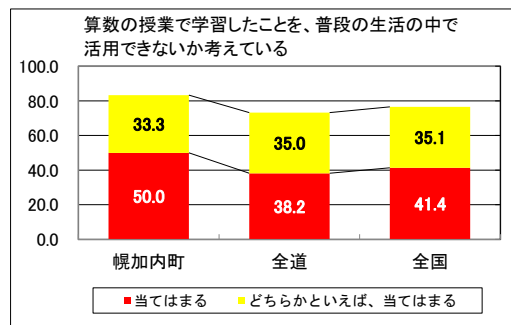
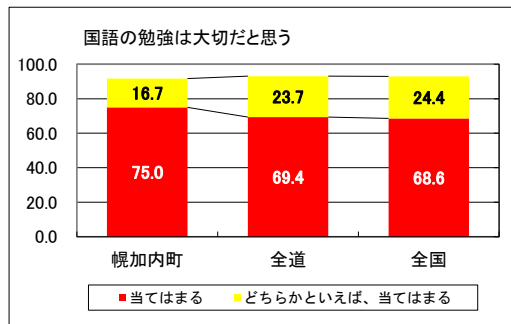
■幌加内町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、児童数:12人)

【教科全体の状況】

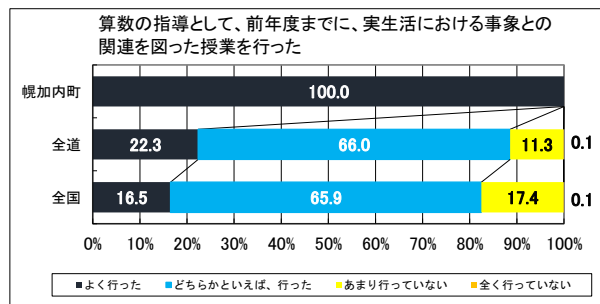
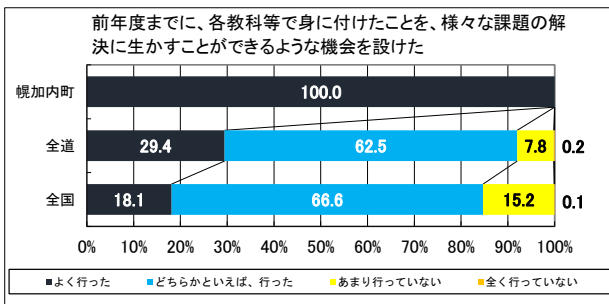
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語において、全国に最も近くなっている。 ○ 国語では、「読むこと」、算数では、「図形」で全国に最も近くなっている。	○ 前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けたことにより、児童が国語の勉強は大切だと思うようになり、国語の「読むこと」で全国に最も近くなったと考えられる。
児童質問紙	○ 「国語の勉強は大切だと思う」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えている」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。	○ 算数の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業をよく行ったことにより、児童が算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えるようになり、算数の「図形」で全国に最も近くなったと考えられる。
学校質問紙	○ 前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けた。 ○ 算数の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業をよく行った。	

【幌加内町の学力向上策】

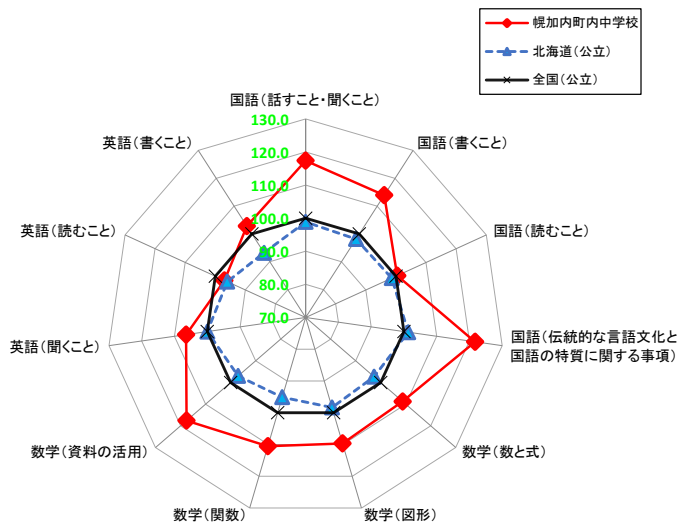
- ◎ 学校・家庭・地域が連携した学力向上に向けた取組の推進
- ◎ 小規模校の特性を生かしたきめ細やかな指導の充実
- ◎ ICT機器を活用した児童一人一人の実態に応じた教育の推進

■幌加内町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:17人)

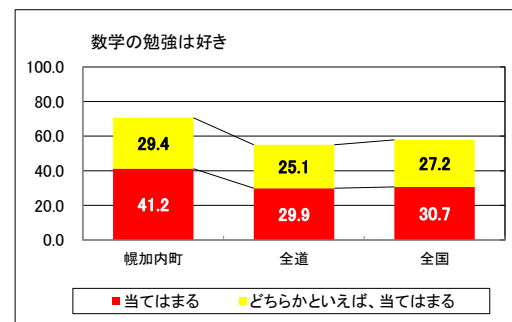
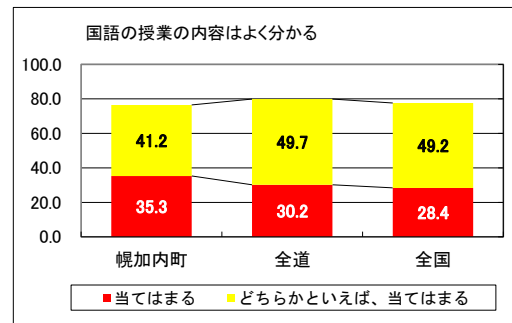
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものの

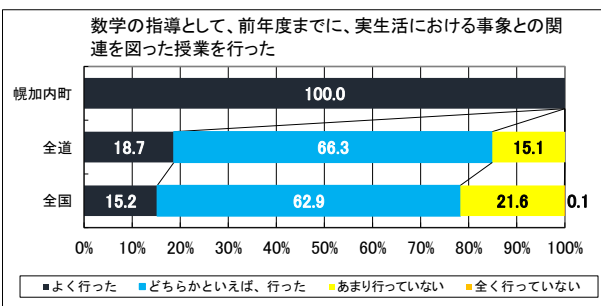
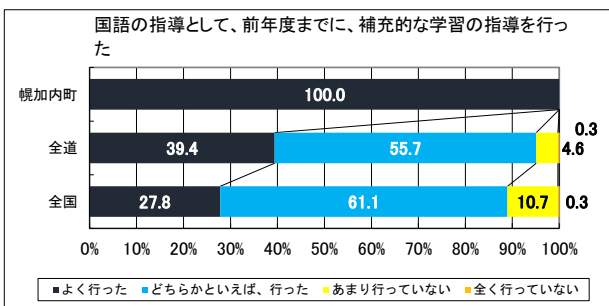
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	〇 全ての教科において、全国を上回っている。 〇 国語及び数学では、全ての領域で、英語では、「聞くこと」「書くこと」で全国を上回っている。	〇 国語の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導をよく行ったことにより、生徒が国語の授業の内容がよく分かるようになり、国語の全ての領域で全国を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	〇 「国語の授業の内容はよく分かる」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 〇 「数学の勉強は好き」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。	〇 数学の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業をよく行ったことにより、生徒が数学の勉強が好きになり、数学の全ての領域で全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	〇 国語の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導をよく行った。 〇 数学の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業をよく行った。	

【幌加内町の学力向上策】

- ◎ 学校・家庭・地域が連携した学力向上に向けた取組の推進
- ◎ ICT教育による生徒一人一人に合わせた学習の充実
- ◎ 英語指導助手の配置による外国語教育の充実